

新たな甲府市総合計画策定のための
甲府市市民アンケート調査
結果報告書

平成27年2月

《目次》

I. 調査の概要.....	1
1. 目的.....	1
2. 調査方法.....	1
3. 調査項目.....	1
4. 回収結果.....	1
5. 報告書の見方.....	1
6. 本調査の居住地域区分.....	2
II. 調査の結果.....	3
1. あなた自身のことについて.....	3
2. 甲府市の住みやすさについて.....	9
(1) 住みやすさ.....	9
(2) 居留意向.....	11
(2-1) 住み続けたいと思う理由.....	13
(2-2) 市外へ転居したいと思う理由.....	15
(3) 甲府市の印象・イメージ.....	17
3. 未来の甲府市のあるべき姿について.....	21
(1) 未来の甲府市の姿としてふさわしいキーワード.....	21
(2) 未来に活かしていきたい甲府市の魅力.....	24
4. これからのまちづくりについて.....	26
(1) 少子化への対応.....	26
(2) 高齢化への対応.....	28
(3) 安全・安心なまち.....	30
(4) 市の産業の振興・活性化.....	32
(5) 環境問題への取組み.....	34
(6) 都市基盤の整備.....	36
(7) 教育・文化に関する取組み.....	38
(8) 未来のまちづくり.....	40
(9) リニア中央新幹線の開業への期待.....	42
5. まちづくりへの参加について.....	44
(1) 近所付き合い.....	44
(2) 市政やまちづくりの活動への参加.....	46
(2-1) 参加したい活動.....	48
(2-2) 参加したくない理由.....	50
(3) 市民と行政による協働のまちづくり.....	52
(4) 市民と行政が協働で取り組む分野.....	54
6. 甲府市のまちづくりへの提案.....	56

I. 調査の概要

1. 目的

この調査は、第五次甲府市総合計画（平成 18 年度策定）が平成 27 年度で終了することから、新たな総合計画の策定に向けた調査・検討の一環として、市民の皆様のご意向を伺い、計画に反映させていくために実施しました。

2. 調査方法

- (1) 調査期間 平成 26 年 9 月～10 月
- (2) 調査対象 市内在住の 18 歳以上の男女
- (3) 対象者数 4,000 人
- (4) 抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送による配布・回収

3. 調査項目

- (1) あなた自身のことについて
- (2) 甲府市の住みやすさについて
- (3) 未来の甲府市のあるべき姿について
- (4) これからのまちづくりについて
- (5) まちづくりへの参加について
- (6) 甲府市のまちづくりへの提案（自由意見）

4. 回収結果

- (1) 配布数 4,000 票
- (2) 回収数 1,433 票
- (3) 回収率 35.8%
- (4) 有効回答数 1,433 票

5. 報告書の見方

- ・図表中の（n=*）は集計母数を表しています。
- ・回答の比率（%）は、各設問の回答者数を母数として算出しているため、複数回答の設問については、選択肢ごとの比率を合計すると 100%を超えることがあります。
- ・回答の比率（%）は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、属性ごとの回答比率の合計が 100%にならないことがあります。
- ・図表中の上段は実数（人）、下段は比率（%）を表しています。

6. 本調査の居住地域区分

- (1) 東部地域 (琢美地区/東地区/里垣地区/玉諸地区/甲運地区)
- (2) 西部地域 (穴切地区/貢川地区/石田地区/池田地区/新田地区)
- (3) 南部地域 (湯田地区/伊勢地区/国母地区/山城地区/大里地区/大国地区/住吉地区
/中道地区/上九一色地区)
- (4) 北部地域 (北新地区/相川地区/千塚地区/羽黒地区/千代田地区/能泉地区/宮本地区)
- (5) 中央部地域 (富士川地区/相生地区/春日地区/新紺屋地区/朝日地区)

II. 調査の結果

1. あなた自身のことについて

(①～⑧それぞれについて○印は1つ)

① 性別 ②年齢 ③居住地域 ④居住年数 ⑤住居 ⑥家族構成 ⑦職業 ⑧通勤地・通学地

①性別について

性別については、「男性」が40.7%、「女性」が54.4%となっています。

	全体	男性	女性	無回答
実数	1,433	583	780	70
比率 (%)	100.0	40.7	54.4	4.9

②年齢について

年齢については、「60歳代」及び「70歳以上」が20%を超えており、「50歳代」が16.7%、「40歳代」が15.0%となっています。また、「30歳代」が13.1%、「18～29歳」が11.8%となっています。

性別にみると、「30歳代」では、女性が男性より6.2ポイント多くなっています。

居住地域別にみて、回答傾向に大きな違いはありません。

項目		全体	18 ～ 29 歳	30 ～ 39 歳	40 ～ 49 歳	50 ～ 59 歳	60 ～ 69 歳	70 歳 以上	無 回 答
全体		1,433 100.0	169 11.8	188 13.1	215 15.0	239 16.7	303 21.1	301 21.0	18 1.3
性別	男性	583 100.0	76 13.0	57 9.8	83 14.2	107 18.4	132 22.6	125 21.4	3 0.5
	女性	780 100.0	93 11.9	125 16.0	117 15.0	120 15.4	161 20.6	162 20.8	2 0.3
居住地域	東部	256 100.0	26 10.2	31 12.1	40 15.6	45 17.6	59 23.0	54 21.1	1 0.4
	西部	236 100.0	26 11.0	32 13.6	41 17.4	36 15.3	45 19.1	54 22.9	2 0.8
	南部	481 100.0	66 13.7	65 13.5	70 14.6	78 16.2	108 22.5	92 19.1	2 0.4
	北部	260 100.0	23 8.8	35 13.5	36 13.8	47 18.1	54 20.8	64 24.6	1 0.4
	中央部	178 100.0	23 12.9	24 13.5	28 15.7	31 17.4	36 20.2	35 19.7	1 0.6

③居住地域

居住地域については、「南部」が33.6%で最も多く、「中央部」が12.4%で最も少なくなっています。

属性 \ 項目	全体	東部地域	西部地域	南部地域	北部地域	中央部地域	無回答
実数	1,433	256	236	481	260	178	22
比率 (%)	100.0	17.9	16.5	33.6	18.1	12.4	1.5

④居住年数

居住年数については、「20年以上」が52.0%で最も多く、「10～20年未満」が17.7%、「5年未満」が16.8%、「5～10年未満」が12.3%で続きます。

性別にみると、男性は「20年以上」が55.4%で、女性と比べて多くなっています。

年齢別にみると、18～29歳及び30歳代では「5年未満」が40%を超え、最も多くなっている一方、50歳代・60歳代・70歳以上では「20年以上」が半数を超え、最も多くなっています。

居住地域別にみて、回答傾向に大きな違いはありません。

属性 \ 項目		全体	5年未満	5 ～ 10 年 未 満	10 ～ 20 年 未 満	20 年 以 上	無 回 答
全体		1,433 100.0	241 16.8	176 12.3	254 17.7	745 52.0	17 1.2
性別	男性	583 100.0	106 18.2	60 10.3	91 15.6	323 55.4	3 0.5
	女性	780 100.0	130 16.7	107 13.7	153 19.6	387 49.6	3 0.4
年齢	18～ 29歳	169 100.0	68 40.2	17 10.1	39 23.1	44 26.0	1 0.6
	30～ 39歳	188 100.0	78 41.5	44 23.4	29 15.4	37 19.7	0 0.0
	40～ 49歳	215 100.0	41 19.1	52 24.2	61 28.4	60 27.9	1 0.5
	50～ 59歳	239 100.0	27 11.3	25 10.5	56 23.4	129 54.0	2 0.8
	60～ 69歳	303 100.0	17 5.6	22 7.3	42 13.9	222 73.3	0 0.0
	70歳 以上	301 100.0	8 2.7	16 5.3	25 8.3	251 83.4	1 0.3
	居住地域	東部	256 100.0	36 14.1	32 12.5	54 21.1	134 52.3
西部		236 100.0	48 20.3	28 11.9	42 17.8	117 49.6	1 0.4
南部		481 100.0	87 18.1	61 12.7	78 16.2	252 52.4	3 0.6
北部		260 100.0	30 11.5	31 11.9	52 20.0	146 56.2	1 0.4
中央部		178 100.0	31 17.4	24 13.5	27 15.2	95 53.4	1 0.6

⑤住居

住居については、「持ち家（一戸建）」が 67.3%で最も多く、次いで「借家（集合住宅）」が 21.4%となっています。

性別にみて、回答傾向に大きな違いはありません。

年齢別にみると、年齢が高いほど「持ち家（一戸建）」が多く、70 歳以上では 87.0%となっています。一方、年齢が低いほど「借家（集合住宅）」が多くなっています。

居住地域別にみると、すべての地域で「持ち家（一戸建）」が最も多くなっていますが、特に北部では 77.3%で他の地域に比べて多くなっています。一方、西部では「借家（集合住宅）」、中央部では「持ち家（集合住宅）」が他の地域に比べて多くなっています。

項目		全体	持ち家 (一戸建)	持ち家 (集合住宅)	借家 (一戸建)	借家 (集合住宅)	その他	無回答
属性								
全体		1,433 100.0	964 67.3	61 4.3	67 4.7	307 21.4	19 1.3	15 1.0
性別	男性	583 100.0	406 69.6	23 3.9	22 3.8	122 20.9	8 1.4	2 0.3
	女性	780 100.0	515 66.0	37 4.7	39 5.0	177 22.7	11 1.4	1 0.1
年齢	18～ 29 歳	169 100.0	79 46.7	5 3.0	6 3.6	78 46.2	1 0.6	0 0.0
	30～ 39 歳	188 100.0	89 47.3	11 5.9	16 8.5	67 35.6	5 2.7	0 0.0
	40～ 49 歳	215 100.0	122 56.7	16 7.4	10 4.7	60 27.9	6 2.8	1 0.5
	50～ 59 歳	239 100.0	170 71.1	14 5.9	9 3.8	44 18.4	2 0.8	0 0.0
	60～ 69 歳	303 100.0	238 78.5	12 4.0	14 4.6	35 11.6	4 1.3	0 0.0
	70 歳 以上	301 100.0	262 87.0	3 1.0	11 3.7	22 7.3	1 0.3	2 0.7
	居住地域	東部	256 100.0	184 71.9	12 4.7	12 4.7	42 16.4	5 2.0
西部		236 100.0	138 58.5	11 4.7	17 7.2	66 28.0	3 1.3	1 0.4
南部		481 100.0	334 69.4	11 2.3	17 3.5	111 23.1	7 1.5	1 0.2
北部		260 100.0	201 77.3	2 0.8	15 5.8	40 15.4	1 0.4	1 0.4
中央部		178 100.0	105 59.0	25 14.0	6 3.4	40 22.5	2 1.1	0 0.0

⑥家族構成

家族構成については、「夫婦と子ども」が 28.1%で最も多く、次いで「夫婦のみ」が 25.5%、「一人暮らし」は 18.4%となっています。

性別にみて、回答傾向に大きな違いはありません。

年齢別にみると、18歳～50歳代では「夫婦と子ども」が最も多く、特に40歳代では50.7%となっています。一方、60歳代及び70歳以上では「夫婦のみ」が最も多く、次いで「一人暮らし」が多くなっています。

居住地域別にみると、中央部では「一人暮らし」が最も多くなっています。

項目		全体	一人暮らし	夫婦のみ	夫婦と子ども	夫婦と親	夫婦と子どもと親	その他	無回答
属性									
性別	全体	1,433	264	365	403	38	105	239	19
		100.0	18.4	25.5	28.1	2.7	7.3	16.7	1.3
	男性	583	110	161	174	21	43	69	5
	100.0	18.9	27.6	29.8	3.6	7.4	11.8	0.9	
	女性	780	142	192	214	15	55	159	3
	100.0	18.2	24.6	27.4	1.9	7.1	20.4	0.4	
年齢	18～29歳	169	35	21	48	1	17	46	1
		100.0	20.7	12.4	28.4	0.6	10.1	27.2	0.6
	30～39歳	188	22	30	81	4	15	35	1
		100.0	11.7	16.0	43.1	2.1	8.0	18.6	0.5
	40～49歳	215	20	24	109	3	19	39	1
		100.0	9.3	11.2	50.7	1.4	8.8	18.1	0.5
	50～59歳	239	45	46	72	16	32	27	1
	100.0	18.8	19.2	30.1	6.7	13.4	11.3	0.4	
	60～69歳	303	62	118	49	11	15	46	2
	100.0	20.5	38.9	16.2	3.6	5.0	15.2	0.7	
	70歳以上	301	79	124	42	3	7	45	1
	100.0	26.2	41.2	14.0	1.0	2.3	15.0	0.3	
居住地域	東部	256	41	69	72	9	22	41	2
		100.0	16.0	27.0	28.1	3.5	8.6	16.0	0.8
	西部	236	49	59	61	11	14	41	1
		100.0	20.8	25.0	25.8	4.7	5.9	17.4	0.4
	南部	481	82	125	147	8	29	89	1
	100.0	17.0	26.0	30.6	1.7	6.0	18.5	0.2	
	北部	260	33	71	84	5	25	40	2
	100.0	12.7	27.3	32.3	1.9	9.6	15.4	0.8	
	中央部	178	52	38	39	5	15	27	2
	100.0	29.2	21.3	21.9	2.8	8.4	15.2	1.1	

⑦職業

職業としては、「会社員・団体職員・公務員」が 33.6%で最も多く、「無職」が 23.9%、「パート・アルバイト」が 13.0%、「自営業（農林業含む）」が 11.9%で続きます。

性別にみると、男性は「会社員・団体職員・公務員」が 40%を超え最も多いほか、「自営業（農林業含む）」も多くなっています。女性は「会社員・団体職員・公務員」が最も多いほか、「パート・アルバイト」と「家事従事」が 18%を超え、男性と比べて多くなっています。

年齢別にみると、18 歳～50 歳代では「会社員・団体職員・公務員」、60 歳代及び 70 歳以上では「無職」が最も多くなっています。

居住地域別にみると、東部及び中央部では「自営業（農林業含む）」が比較的多くなっています。

項目		全体	会社員・団体職員・公務員	自営業 (農林業含む)	パート・アルバイト	学生	家事従事	無職	その他	無回答
属性										
全体		1,433 100.0	481 33.6	171 11.9	186 13.0	48 3.3	149 10.4	343 23.9	40 2.8	15 1.0
性別	男性	583 100.0	269 46.1	98 16.8	34 5.8	24 4.1	1 0.2	141 24.2	15 2.6	1 0.2
	女性	780 100.0	193 24.7	69 8.8	145 18.6	24 3.1	142 18.2	180 23.1	24 3.1	3 0.4
年齢	18～29 歳	169 100.0	85 50.3	3 1.8	11 6.5	48 28.4	9 5.3	8 4.7	4 2.4	1 0.6
	30～39 歳	188 100.0	100 53.2	12 6.4	33 17.6	0 0.0	27 14.4	8 4.3	8 4.3	0 0.0
	40～49 歳	215 100.0	122 56.7	23 10.7	32 14.9	0 0.0	20 9.3	10 4.7	7 3.3	1 0.5
	50～59 歳	239 100.0	108 45.2	30 12.6	44 18.4	0 0.0	31 13.0	16 6.7	10 4.2	0 0.0
	60～69 歳	303 100.0	55 18.2	59 19.5	53 17.5	0 0.0	31 10.2	96 31.7	7 2.3	2 0.7
	70 歳以上	301 100.0	10 3.3	43 14.3	13 4.3	0 0.0	30 10.0	201 66.8	4 1.3	0 0.0
居住地域	東部	256 100.0	80 31.3	42 16.4	27 10.5	7 2.7	31 12.1	58 22.7	10 3.9	1 0.4
	西部	236 100.0	85 36.0	22 9.3	35 14.8	2 0.8	26 11.0	62 26.3	4 1.7	0 0.0
	南部	481 100.0	162 33.7	60 12.5	73 15.2	17 3.5	50 10.4	107 22.2	9 1.9	3 0.6
	北部	260 100.0	84 32.3	16 6.2	35 13.5	11 4.2	32 12.3	72 27.7	10 3.8	0 0.0
	中央部	178 100.0	68 38.2	30 16.9	16 9.0	7 3.9	10 5.6	40 22.5	7 3.9	0 0.0

⑧通勤地・通学地

通勤地・通学地としては、「甲府市内」が 40.7%で最も多く、「県内他市町村」が 17.8%、「県外」が 2.4%で続きます。「通勤・通学していない」は 30.8%となっています。

性別にみると、男性は「県内他市町村」が女性を 6.0 ポイント、女性は「通勤・通学していない」が男性を 11.8 ポイント上回っています。

年齢別にみると、18～29 歳では「県外」が、30 歳代では「県内他市町村」が、他の年齢と比べて多くなっています。

居住地域別にみると、中央部で「甲府市内」、西部で「県内他市町村」が他の地域と比べて多くなっています。

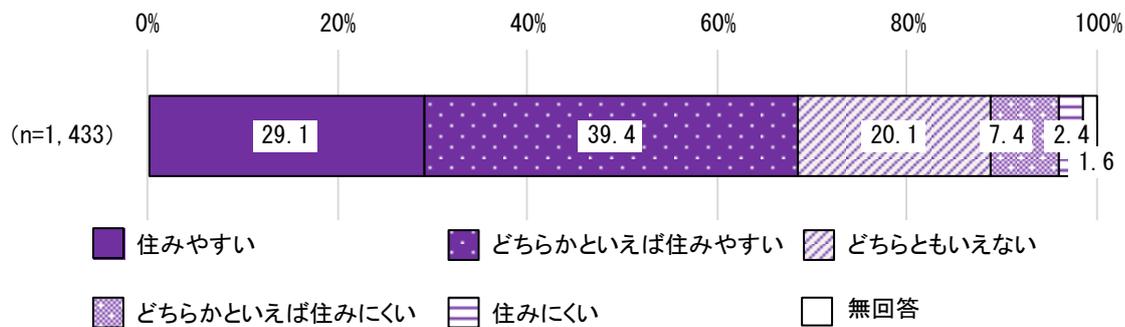
項目		全体	甲府市内	他市町村	県内	県外	通勤・通学していない	無回答
属性								
全体		1,433	583	255	35	442	118	
		100.0	40.7	17.8	2.4	30.8	8.2	
性別	男性	583	248	126	27	141	41	
		100.0	42.5	21.6	4.6	24.2	7.0	
	女性	780	311	122	7	281	59	
		100.0	39.9	15.6	0.9	36.0	7.6	
年齢	18～29 歳	169	96	36	19	17	1	
		100.0	56.8	21.3	11.2	10.1	0.6	
	30～39 歳	188	88	60	1	36	3	
		100.0	46.8	31.9	0.5	19.1	1.6	
	40～49 歳	215	123	52	3	30	7	
		100.0	57.2	24.2	1.4	14.0	3.3	
	50～59 歳	239	121	57	4	50	7	
	100.0	50.6	23.8	1.7	20.9	2.9		
	60～69 歳	303	101	43	5	123	31	
		100.0	33.3	14.2	1.7	40.6	10.2	
	70 歳以上	301	52	7	3	182	57	
		100.0	17.3	2.3	1.0	60.5	18.9	
居住地域	東部	256	103	47	6	82	18	
		100.0	40.2	18.4	2.3	32.0	7.0	
	西部	236	86	54	7	67	22	
		100.0	36.4	22.9	3.0	28.4	9.3	
	南部	481	197	88	9	156	31	
	100.0	41.0	18.3	1.9	32.4	6.4		
	北部	260	96	47	7	86	24	
		100.0	36.9	18.1	2.7	33.1	9.2	
	中央部	178	96	18	6	47	11	
		100.0	53.9	10.1	3.4	26.4	6.2	

2. 甲府市の住みやすさについて

(1) 住みやすさ

問1. あなたにとって、甲府市は住みやすいまちですか。 (○印は1つ)

<全体>



◆甲府市を住みやすいと感じている人が約70%

甲府市の住みやすさとしては、「どちらかといえば住みやすい」が39.4%で最も多く、「住みやすい」が29.1%となっており、これらを合計した住みやすいと感じている層は68.5%となっています。一方、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合計した住みにくいと感じている層は9.8%となっています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目 属性		全体	住みやすい	どちらかといえば住みやすい	どちらともいえない	どちらかといえば住みにくい	住みにくい	無回答
全体		1,433 100.0	417 29.1	565 39.4	288 20.1	106 7.4	34 2.4	23 1.6
性別	男性	583 100.0	159 27.3	227 38.9	125 21.4	53 9.1	12 2.1	7 1.2
	女性	780 100.0	243 31.2	314 40.3	148 19.0	45 5.8	22 2.8	8 1.0
年齢	18～29歳	169 100.0	44 26.0	66 39.1	29 17.2	24 14.2	6 3.6	0 0.0
	30～39歳	188 100.0	47 25.0	77 41.0	39 20.7	19 10.1	5 2.7	1 0.5
	40～49歳	215 100.0	68 31.6	80 37.2	46 21.4	15 7.0	4 1.9	2 0.9
	50～59歳	239 100.0	69 28.9	100 41.8	42 17.6	21 8.8	4 1.7	3 1.3
	60～69歳	303 100.0	99 32.7	108 35.6	76 25.1	12 4.0	5 1.7	3 1.0
	70歳以上	301 100.0	87 28.9	130 43.2	53 17.6	15 5.0	10 3.3	6 2.0
居住地域	東部	256 100.0	74 28.9	99 38.7	57 22.3	19 7.4	6 2.3	1 0.4
	西部	236 100.0	66 28.0	99 41.9	51 21.6	15 6.4	3 1.3	2 0.8
	南部	481 100.0	118 24.5	205 42.6	98 20.4	38 7.9	15 3.1	7 1.5
	北部	260 100.0	92 35.4	86 33.1	51 19.6	20 7.7	6 2.3	5 1.9
	中央部	178 100.0	58 32.6	75 42.1	28 15.7	13 7.3	4 2.2	0 0.0

性別にみると、女性は、住みやすいと感じている層（「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」の合計）が男性を5.3ポイント上回っています。

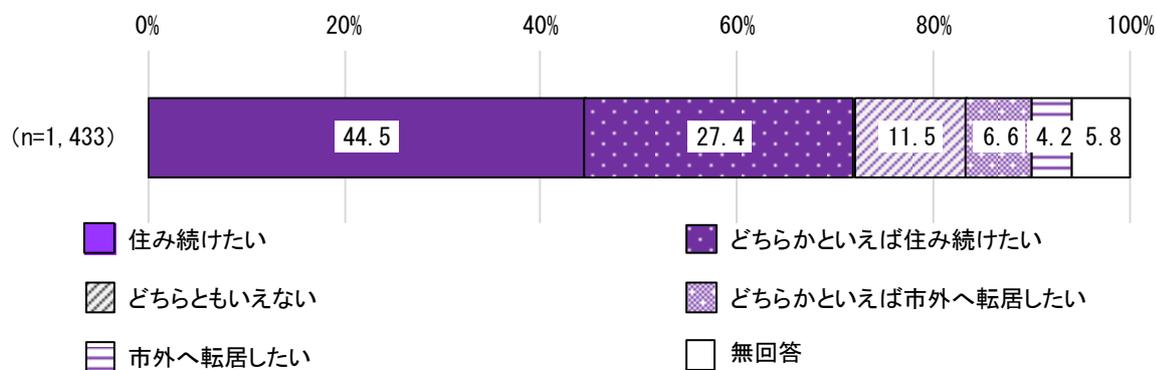
年齢別にみると、すべての年齢で住みやすいと感じている層が65%を超えています。また、概ね年齢が高いほど、住みやすいと感じている層が多い傾向がみられます。

居住地域別にみると、北部では「住みやすい」が最も多くなっています。また、中央部は、住みやすいと感じている層が74.7%で、他の地域と比べ多くなっています。

(2) 居住意向

問2. あなたは、これからも甲府市に住み続けたいと思いますか。(○印は1つ)

<全体>



◆居住意向のある人が70%を超える

甲府市への居住意向としては、「住み続けたい」が44.5%で最も多く、「どちらかといえば住み続けたい」が27.4%となっており、これらを合計した住み続けたいと思う層は71.9%となっています。一方、「どちらかといえば市外へ転居したい」と「市外へ転居したい」を合計した市外へ転居したいと思う層は10.8%となっています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目		全体	住み続けたい	どちらかといえば住み続けたい	どちらともいえない	市外へ転居したい	どちらかといえば市外へ転居したい	市外へ転居したい	無回答
属性									
全体		1,433 100.0	637 44.5	393 27.4	165 11.5	95 6.6	60 4.2	83 5.8	
性別	男性	583 100.0	249 42.7	154 26.4	67 11.5	41 7.0	33 5.7	39 6.7	
	女性	780 100.0	360 46.2	223 28.6	90 11.5	48 6.2	25 3.2	34 4.4	
年齢	18～29歳	169 100.0	45 26.6	50 29.6	27 16.0	22 13.0	20 11.8	5 3.0	
	30～39歳	188 100.0	63 33.5	62 33.0	26 13.8	15 8.0	7 3.7	15 8.0	
	40～49歳	215 100.0	96 44.7	60 27.9	26 12.1	13 6.0	9 4.2	11 5.1	
	50～59歳	239 100.0	97 40.6	66 27.6	31 13.0	17 7.1	11 4.6	17 7.1	
	60～69歳	303 100.0	154 50.8	81 26.7	33 10.9	16 5.3	8 2.6	11 3.6	
	70歳以上	301 100.0	178 59.1	71 23.6	20 6.6	11 3.7	5 1.7	16 5.3	
	居住地	東部	256 100.0	112 43.8	73 28.5	27 10.5	16 6.3	13 5.1	15 5.9
	西部	236 100.0	111 47.0	64 27.1	21 8.9	17 7.2	11 4.7	12 5.1	
	南部	481 100.0	208 43.2	133 27.7	65 13.5	35 7.3	17 3.5	23 4.8	
	北部	260 100.0	116 44.6	76 29.2	29 11.2	15 5.8	9 3.5	15 5.8	
	中央部	178 100.0	83 46.6	45 25.3	20 11.2	11 6.2	9 5.1	10 5.6	

性別にみると、女性は、住み続けたいと思う層（「住み続けたい」と「どちらかといえば住み続けたい」の合計）が男性を5.7ポイント上回っています。

年齢別にみると、年齢が高いほど、住み続けたいと思う層が多くなる傾向にあり、最も少ない18～29歳（56.2%）と、最も多い70歳以上（82.7%）との差は26.5ポイントとなっています。

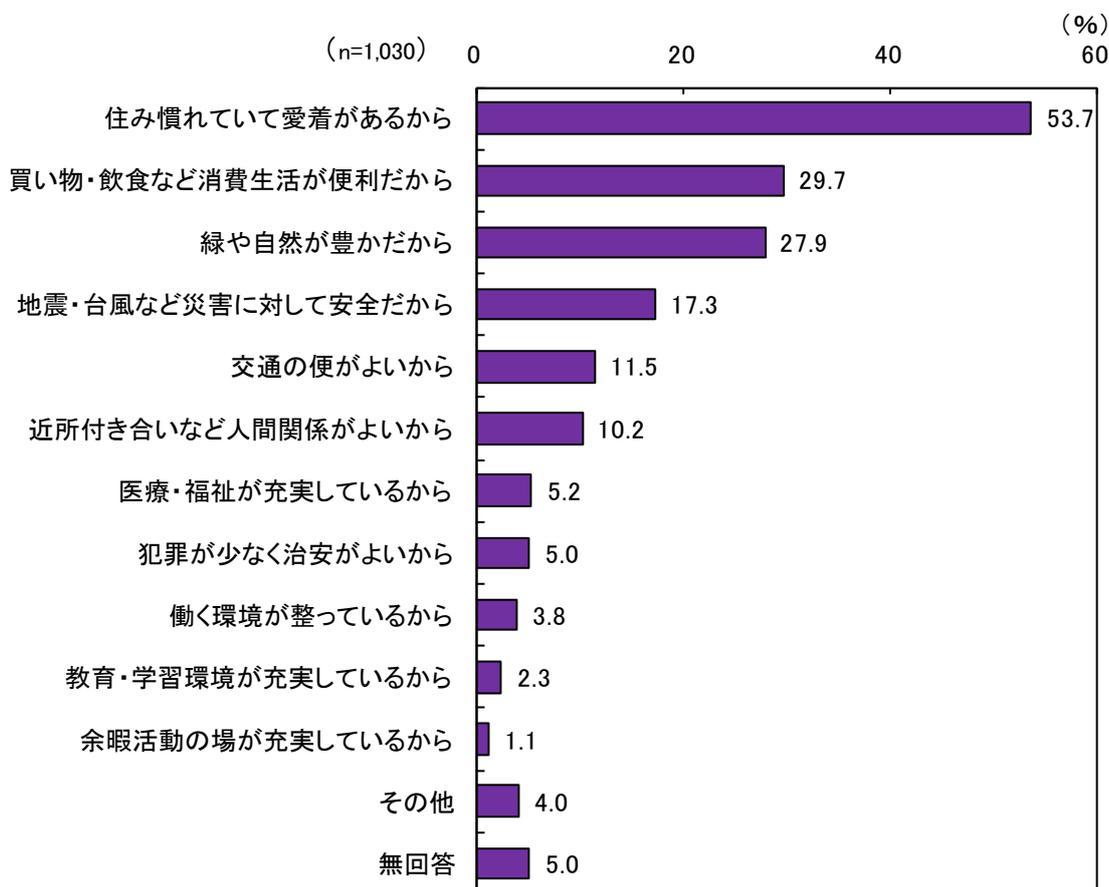
居住地別にみて、全体の回答傾向と大きな違いはありません。

(2-1) 住みたいと思う理由

【問2で「住みたい」または「どちらかといえば住みたい」と回答した方のみ】

問2-1. 住みたいと思う理由何ですか。(〇印は2つまで)

<全体>



◆住みたい理由は、愛着があるからが半数を超える

住みたいと思う理由としては、「住み慣れていて愛着があるから」が 53.7%で最も多く、「買い物・飲食など消費生活が便利だから」が 29.7%、「緑や自然が豊かだから」が 27.9%となっています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目		全体	緑や自然が豊かだから	買い物・飲食など消費生活が便利だから	交通の便がよいから	医療・福祉が充実しているから	教育・学習環境が充実しているから	地震・台風など災害に対して安全だから	治安がよいから	犯罪が少なくあるから	住み慣れていて愛着があるから	整っているから	働く環境がよいから	余暇活動の場が充実しているから	近所付き合いなど人間関係がよいから	その他	無回答
全体		1,030 100.0	287 27.9	306 29.7	118 11.5	54 5.2	24 2.3	178 17.3	52 5.0	553 53.7	39 3.8	11 1.1	105 10.2	41 4.0	52 5.0		
性別	男性	403 100.0	122 30.3	114 28.3	49 12.2	26 6.5	6 1.5	76 18.9	14 3.5	213 52.9	20 5.0	4 1.0	35 8.7	17 4.2	18 4.5		
	女性	583 100.0	150 25.7	180 30.9	64 11.0	27 4.6	17 2.9	97 16.6	35 6.0	307 52.7	19 3.3	7 1.2	66 11.3	23 3.9	32 5.5		
年齢	18～29歳	95 100.0	31 32.6	30 31.6	13 13.7	2 2.1	0 0.0	12 12.6	6 6.3	53 55.8	7 7.4	1 1.1	7 7.4	4 4.2	1 1.1		
	30～39歳	125 100.0	20 16.0	38 30.4	18 14.4	4 3.2	6 4.8	12 9.6	7 5.6	68 54.4	12 9.6	1 0.8	5 4.0	10 8.0	7 5.6		
	40～49歳	156 100.0	47 30.1	57 36.5	22 14.1	12 7.7	12 7.7	19 12.2	7 4.5	74 47.4	7 4.5	0 0.0	10 6.4	1 0.6	7 4.5		
	50～59歳	163 100.0	45 27.6	48 29.4	19 11.7	6 3.7	3 1.8	24 14.7	9 5.5	87 53.4	7 4.3	5 3.1	11 6.7	9 5.5	10 6.1		
	60～69歳	235 100.0	65 27.7	71 30.2	27 11.5	11 4.7	3 1.3	48 20.4	11 4.7	130 55.3	4 1.7	0 0.0	33 14.0	10 4.3	13 5.5		
	70歳以上	249 100.0	79 31.7	60 24.1	18 7.2	19 7.6	0 0.0	62 24.9	10 4.0	136 54.6	2 0.8	3 1.2	39 15.7	7 2.8	14 5.6		
	居住地域	東部	185 100.0	42 22.7	69 37.3	27 14.6	8 4.3	3 1.6	30 16.2	10 5.4	101 54.6	5 2.7	1 0.5	15 8.1	5 2.7	10 5.4	
西部		175 100.0	32 18.3	62 35.4	20 11.4	11 6.3	4 2.3	37 21.1	8 4.6	92 52.6	5 2.9	1 0.6	22 12.6	9 5.1	11 6.3		
南部		341 100.0	91 26.7	103 30.2	27 7.9	12 3.5	5 1.5	58 17.0	18 5.3	184 54.0	19 5.6	8 2.3	34 10.0	12 3.5	17 5.0		
北部		192 100.0	95 49.5	31 16.1	17 8.9	14 7.3	7 3.6	36 18.8	9 4.7	111 57.8	5 2.6	0 0.0	20 10.4	7 3.6	5 2.6		
中央部		128 100.0	23 18.0	39 30.5	24 18.8	8 6.3	5 3.9	17 13.3	5 3.9	62 48.4	5 3.9	0 0.0	13 10.2	7 5.5	9 7.0		

性別にみると、男女とも上位は全体の回答傾向と同様であり、大きな違いはありません。

年齢別にみると、70歳以上では「地震・台風など災害に対して安全だから」が上位に入っており、全体を7.6ポイント上回っています。

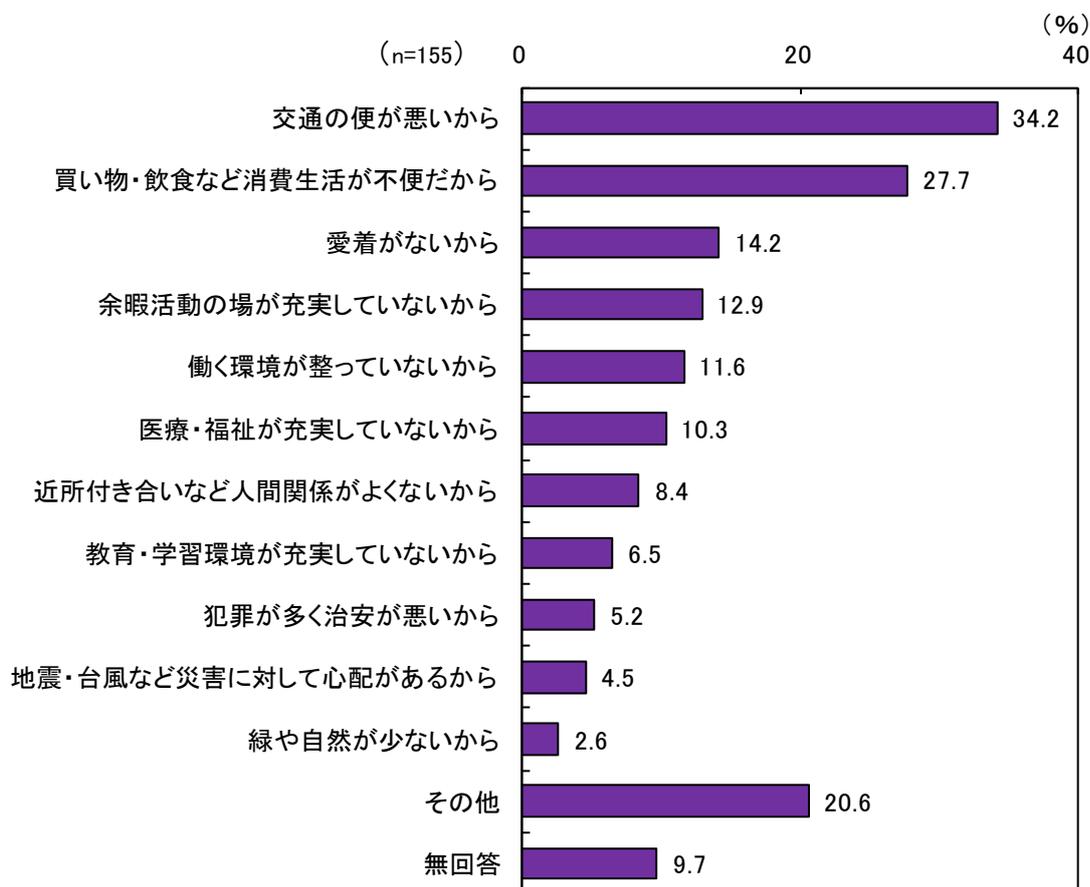
居住地域別にみると、北部では「緑や自然が豊かだから」が49.5%で他の地域と比べて多くなっており、西部・北部では「地震・台風など災害に対して安全だから」が、中央部では「交通の便がよいから」が上位に入っています。

(2-2) 市外へ転居したいと思う理由

【問2で「市外へ転居したい」または「どちらかといえば市外へ転居したい」と回答した方のみ】

問2-2. 市外へ転居したいと思う理由は何ですか。(〇印は2つまで)

<全体>



◆転居したい理由は、交通や消費生活の不便が多い

市外へ転居したいと思う理由としては、「交通の便が悪いから」が 34.2%で最も多く、次いで「買い物・飲食など消費生活が不便だから」が 27.7%となっています。このほか「愛着がないから」が 14.2%、「余暇活動の場が充実していないから」が 12.9%となっています。

なお、「その他」の理由としては、税金や公共料金が高いという回答が最も多く、次いで、地元に戻りたいという回答が多くなっています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目 属性	全体	緑や自然が少ないから	買い物・飲食など消費生活が不便だから	交通の便が悪いから	医療・福祉が充実していないから	教育・学習環境が充実していないから	地震・台風など災害に對して心配があるから	治安が悪いから	犯罪が多く	愛着がないから	整っていないから	働く環境が	余暇活動の場が充実していないから	近所付き合いなど人間関係がよくないから	その他	無回答
	全体	155 100.0	4 2.6	43 27.7	53 34.2	16 10.3	10 6.5	7 4.5	8 5.2	22 14.2	18 11.6	20 12.9	13 8.4	32 20.6	15 9.7	
性別	男性	74 100.0	2 2.7	19 25.7	30 40.5	7 9.5	3 4.1	5 6.8	2 2.7	12 16.2	9 12.2	11 14.9	4 5.4	14 18.9	6 8.1	
	女性	73 100.0	2 2.7	21 28.8	21 28.8	7 9.6	7 9.6	1 1.4	6 8.2	10 13.7	8 11.0	7 9.6	8 11.0	17 23.3	8 11.0	
年齢	18～29歳	42 100.0	0 0.0	12 28.6	21 50.0	2 4.8	5 11.9	0 0.0	1 2.4	3 7.1	5 11.9	11 26.2	0 0.0	7 16.7	4 9.5	
	30～39歳	22 100.0	1 4.5	7 31.8	7 31.8	4 18.2	2 9.1	0 0.0	2 9.1	7 31.8	3 13.6	2 9.1	0 0.0	3 13.6	1 4.5	
	40～49歳	22 100.0	0 0.0	6 27.3	7 31.8	1 4.5	0 0.0	1 4.5	2 9.1	1 4.5	3 13.6	3 13.6	0 0.0	7 31.8	4 18.2	
	50～59歳	28 100.0	1 3.6	5 17.9	7 25.0	3 10.7	1 3.6	3 10.7	1 3.6	5 17.9	4 14.3	2 7.1	3 10.7	5 17.9	4 14.3	
	60～69歳	24 100.0	1 4.2	7 29.2	6 25.0	4 16.7	2 8.3	2 8.3	2 8.3	4 16.7	2 8.3	1 4.2	4 16.7	6 25.0	1 4.2	
	70歳以上	16 100.0	1 6.3	6 37.5	5 31.3	2 12.5	0 0.0	1 6.3	0 0.0	2 12.5	1 6.3	1 6.3	6 37.5	3 18.8	1 6.3	
	居住地域	東部	29 100.0	1 3.4	11 37.9	9 31.0	5 17.2	3 10.3	2 6.9	1 3.4	5 17.2	5 17.2	1 3.4	5 17.2	6 20.7	0 0.0
西部	28 100.0	1 3.6	6 21.4	8 28.6	1 3.6	2 7.1	1 3.6	3 10.7	6 21.4	4 14.3	5 17.9	2 7.1	6 21.4	3 10.7		
南部	52 100.0	0 0.0	14 26.9	19 36.5	6 11.5	4 7.7	3 5.8	2 3.8	4 7.7	5 9.6	6 11.5	4 7.7	12 23.1	5 9.6		
北部	24 100.0	1 4.2	8 33.3	10 41.7	1 4.2	1 4.2	1 4.2	1 4.2	4 16.7	3 12.5	1 4.2	0 0.0	3 12.5	5 20.8		
中央部	20 100.0	1 5.0	4 20.0	7 35.0	3 15.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 15.0	1 5.0	6 30.0	2 10.0	4 20.0	2 10.0		

性別にみると、男性は「交通の便が悪いから」が女性を11.7ポイント上回っています。

年齢別にみると、18～29歳では「交通の便が悪いから」が50.0%、「余暇活動の場が充実していないから」が26.2%で、それぞれ他の年齢と比べて多くなっています。また、30歳代及び50歳代で「愛着がないから」が、70歳代で「近所付き合いなど人間関係がよくないから」が上位に入っています。

居住地域別にみると、東部では「買い物・飲食など消費生活が不便だから」が最も多くなっています。また、西部では「愛着がないから」が、中央部では「余暇活動の場が充実していないから」が他の地域と比べて多くなっています。

(3) 甲府市の印象・イメージ

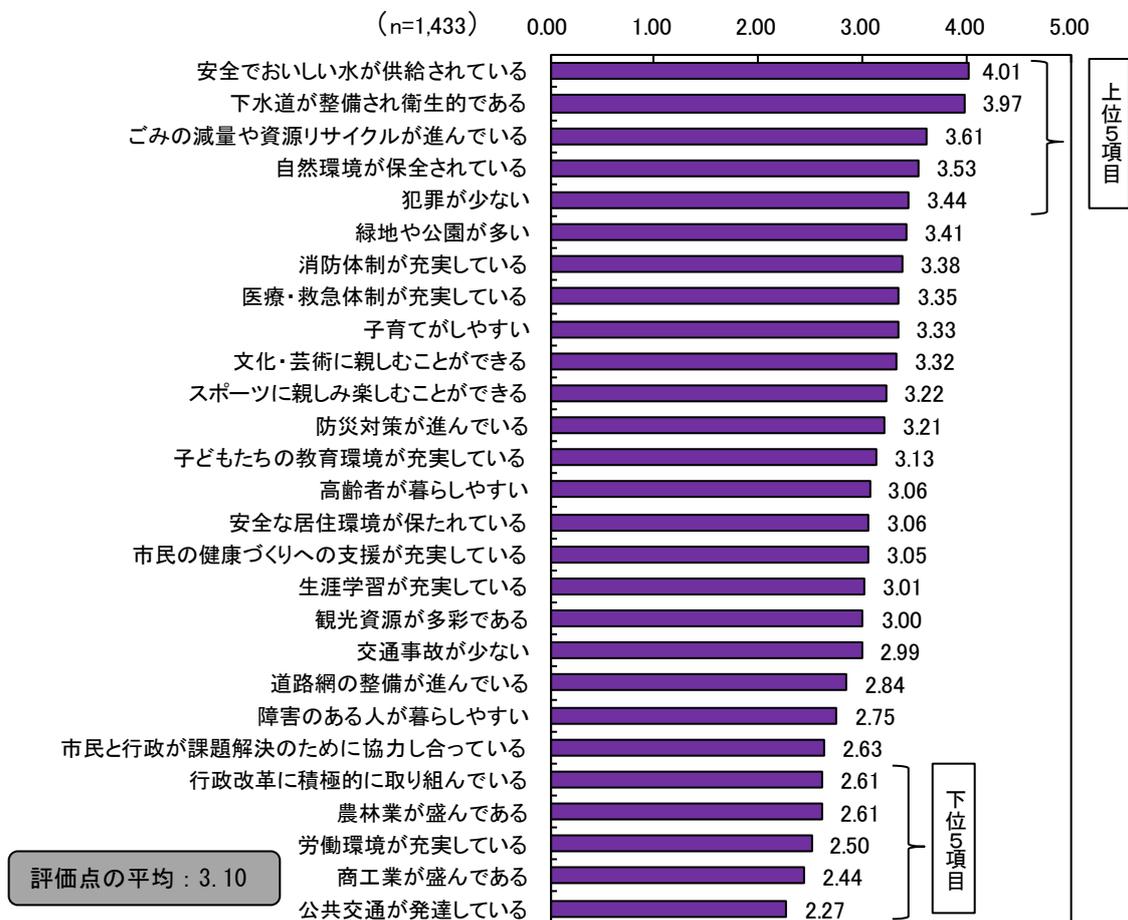
問3. あなたは、現在の甲府市についてどのような印象・イメージを持っていますか。
次の(1)～(27)のそれぞれについて、お答えください。(○印は各項目1つずつ)

《集計方法とグラフの見方》

印象・イメージについて評価の結果をわかりやすく示すために、加重平均による分析を行いました。問3については、「そう思う・少し思う・どちらでもない・あまり思わない・そう思わない」の回答数に、それぞれ「5・4・3・2・1」点を乗じ、その合計を全回答数（無回答を除く）で除して評価点としました。

したがって、5に近いほど肯定的な評価、1に近いほど否定的な評価とみることができます。

<全体>



◆生活・自然環境の分野の印象は良いが、産業や都市基盤の分野の印象は良くない

評価が高い5項目は、「安全でおいしい水が供給されている」(4.01)、「下水道が整備され衛生的である」(3.97)、「ごみの減量や資源リサイクルが進んでいる」(3.61)、「自然環境が保全されている」(3.53)、「犯罪が少ない」(3.44)となっています。一方、評価が低い5項目は、「行政改革に積極的に取り組んでいる」(2.61)、「農林業が盛んである」(2.61)、「労働環境が充実している」(2.50)、「商工業が盛んである」(2.44)、「公共交通が発達している」(2.27)となっています。

■印象・イメージの評価と順位 ※濃い網掛けは上位 10 位、薄い網掛けは下位 10 位を表す

分野	項目	印象・イメージ	
		評価点	順位
福祉・健康	(1)子育てがしやすい	3.33	9
	(2)高齢者が暮らしやすい	3.06	14
	(3)障害のある人が暮らしやすい	2.75	21
	(4)市民の健康づくりへの支援が充実している	3.05	16
	(5)医療・救急体制が充実している	3.35	8
教育・文化	(6)子どもたちの教育環境が充実している	3.13	13
	(7)生涯学習が充実している	3.01	17
	(8)スポーツに親しみ楽しむことができる	3.22	11
	(9)文化・芸術に親しみ楽しむことができる	3.32	10
生活・自然環境	(10)自然環境が保全されている	3.53	4
	(11)緑地や公園が多い	3.41	6
	(12)安全な居住環境が保たれている	3.06	15
	(13)安全でおいしい水が供給されている	4.01	1
	(14)下水道が整備され衛生的である	3.97	2
	(15)ごみの減量や資源リサイクルが進んでいる	3.61	3
	(16)防災対策が進んでいる	3.21	12
	(17)消防体制が充実している	3.38	7
	(18)犯罪が少ない	3.44	5
	(19)交通事故が少ない	2.99	19
産業	(20)商工業が盛んである	2.44	26
	(21)農林業が盛んである	2.61	24
	(22)観光資源が多彩である	3.00	18
	(23)労働環境が充実している	2.50	25
都市基盤	(24)公共交通が発達している	2.27	27
	(25)道路網の整備が進んでいる	2.84	20
行政運営	(26)市民と行政が課題解決のために協力し合っている	2.63	22
	(27)行政改革に積極的に取り組んでいる	2.61	23
印象・イメージの評価点平均		3.10	—

生活・自然環境の分野には、全体の上位 7 位までが入っています。一方、産業、都市基盤、行政運営の分野は、すべて全体の下位 10 位が占めています。

<属性別> (印象・イメージの評価その1) ※濃い網掛けは上位10位、薄い網掛けは下位10位を表す

分野	項目	全体	性別		年齢					
			男性	女性	18～ 29歳	30～ 39歳	40～ 49歳	50～ 59歳	60～ 69歳	70歳 以上
福祉・健康	(1)子育てがしやすい	3.33	3.29	3.38	3.14	3.15	3.32	3.35	3.47	3.47
	(2)高齢者が暮らしやすい	3.06	3.05	3.09	3.00	2.86	2.87	3.11	3.07	3.37
	(3)障害のある人が暮らしやすい	2.75	2.73	2.76	2.77	2.61	2.57	2.76	2.76	2.98
	(4)市民の健康づくりへの支援が充実している	3.05	3.02	3.08	2.84	2.81	2.94	3.07	3.15	3.32
	(5)医療・救急体制が充実している	3.35	3.34	3.36	3.21	3.14	3.23	3.33	3.42	3.60
教育・文化	(6)子どもたちの教育環境が充実している	3.13	3.06	3.17	3.01	3.02	2.98	3.08	3.19	3.37
	(7)生涯学習が充実している	3.01	2.96	3.05	2.94	2.90	2.87	2.97	3.09	3.21
	(8)スポーツに親しみ楽しむことができる	3.22	3.19	3.25	3.33	3.07	3.15	3.25	3.18	3.34
	(9)文化・芸術に親しみ楽しむことができる	3.32	3.26	3.37	3.28	3.23	3.20	3.27	3.35	3.51
生活・自然環境	(10)自然環境が保全されている	3.53	3.50	3.55	3.58	3.47	3.42	3.51	3.48	3.70
	(11)緑地や公園が多い	3.41	3.37	3.45	3.66	3.28	3.29	3.44	3.36	3.52
	(12)安全な居住環境が保たれている	3.06	3.04	3.07	3.12	3.00	3.02	3.05	2.96	3.21
	(13)安全でおいしい水が供給されている	4.01	4.04	3.99	3.99	3.68	3.90	3.95	4.07	4.31
	(14)下水道が整備され衛生的である	3.97	3.96	3.98	3.92	3.67	3.90	3.81	4.09	4.25
	(15)ごみの減量や資源リサイクルが進んでいる	3.61	3.62	3.61	3.24	3.20	3.38	3.54	3.84	4.10
	(16)防災対策が進んでいる	3.21	3.16	3.24	3.15	3.00	3.09	3.14	3.24	3.49
	(17)消防体制が充実している	3.38	3.39	3.38	3.25	3.13	3.23	3.32	3.49	3.66
	(18)犯罪が少ない	3.44	3.41	3.47	3.38	3.21	3.24	3.45	3.52	3.69
産業	(19)交通事故が少ない	2.99	2.95	3.01	2.60	2.64	2.78	3.04	3.17	3.36
	(20)商工業が盛んである	2.44	2.40	2.47	2.51	2.42	2.35	2.35	2.46	2.51
	(21)農林業が盛んである	2.61	2.58	2.62	3.05	2.73	2.47	2.54	2.43	2.59
	(22)観光資源が多彩である	3.00	2.99	3.01	2.95	2.79	2.89	3.09	3.02	3.19
都市基盤	(23)労働環境が充実している	2.50	2.44	2.55	2.59	2.62	2.44	2.43	2.42	2.60
	(24)公共交通が発達している	2.27	2.26	2.28	2.22	2.19	2.06	2.16	2.34	2.53
行政運営	(25)道路網の整備が進んでいる	2.84	2.81	2.87	2.82	2.65	2.62	2.87	2.98	3.01
	(26)市民と行政が課題解決のために協力し合っている	2.63	2.58	2.66	2.50	2.39	2.47	2.58	2.65	3.01
	(27)行政改革に積極的に取り組んでいる	2.61	2.54	2.66	2.54	2.39	2.46	2.52	2.64	2.96
印象・イメージの評価点平均		3.10	3.07	3.13	3.06	2.93	2.97	3.07	3.14	3.33

性別にみると、女性は男性より、全体の評価点平均が高くなっています。

年齢別にみると、30歳代及び40歳代は、評価点平均が低く、一方、70歳以上は評価点平均が高くなっています。また、18～29歳では「(8) スポーツに親しみ楽しむことができる」、70歳以上は「(16) 防災対策が進んでいる」がそれぞれ上位10位に入っており、全体の評価と比べても高くなっています。

<属性別> (印象・イメージの評価その2) ※濃い網掛けは上位10位、薄い網掛けは下位10位を表す

分野	項目	全体	居住地域				
			東部	西部	南部	北部	中央部
福祉・健康	(1)子育てがしやすい	3.33	3.38	3.31	3.35	3.38	3.23
	(2)高齢者が暮らしやすい	3.06	3.10	3.10	3.03	3.05	3.10
	(3)障害のある人が暮らしやすい	2.75	2.82	2.76	2.79	2.64	2.69
	(4)市民の健康づくりへの支援が充実している	3.05	3.04	3.02	3.05	3.04	3.14
	(5)医療・救急体制が充実している	3.35	3.31	3.46	3.31	3.28	3.44
教育・文化	(6)子どもたちの教育環境が充実している	3.13	3.12	3.11	3.11	3.12	3.19
	(7)生涯学習が充実している	3.01	3.01	2.97	3.02	3.02	3.02
	(8)スポーツに親しみ楽しむことができる	3.22	3.19	3.13	3.29	3.28	3.15
	(9)文化・芸術に親しみ楽しむことができる	3.32	3.26	3.39	3.24	3.44	3.37
生活・自然環境	(10)自然環境が保全されている	3.53	3.40	3.47	3.51	3.72	3.57
	(11)緑地や公園が多い	3.41	3.13	3.39	3.49	3.65	3.34
	(12)安全な居住環境が保たれている	3.06	2.93	3.11	3.05	3.12	3.10
	(13)安全でおいしい水が供給されている	4.01	3.88	3.91	3.99	4.15	4.17
	(14)下水道が整備され衛生的である	3.97	3.69	4.03	3.96	4.07	4.19
	(15)ごみの減量や資源リサイクルが進んでいる	3.61	3.58	3.63	3.61	3.64	3.63
	(16)防災対策が進んでいる	3.21	3.10	3.20	3.26	3.25	3.19
	(17)消防体制が充実している	3.38	3.27	3.33	3.43	3.44	3.37
	(18)犯罪が少ない	3.44	3.35	3.38	3.44	3.56	3.51
	(19)交通事故が少ない	2.99	2.98	2.96	2.94	3.05	3.10
産業	(20)商工業が盛んである	2.44	2.44	2.47	2.50	2.36	2.36
	(21)農林業が盛んである	2.61	2.64	2.53	2.63	2.60	2.57
	(22)観光資源が多彩である	3.00	2.96	3.03	2.96	3.06	3.07
	(23)労働環境が充実している	2.50	2.52	2.49	2.51	2.42	2.59
都市基盤	(24)公共交通が発達している	2.27	2.29	2.33	2.21	2.28	2.29
	(25)道路網の整備が進んでいる	2.84	2.84	2.95	2.84	2.68	2.95
行政運営	(26)市民と行政が課題解決のために協力している	2.63	2.60	2.72	2.60	2.57	2.72
	(27)行政改革に積極的に取り組んでいる	2.61	2.62	2.65	2.58	2.60	2.66
印象・イメージの評価点平均		3.10	3.05	3.10	3.10	3.13	3.14

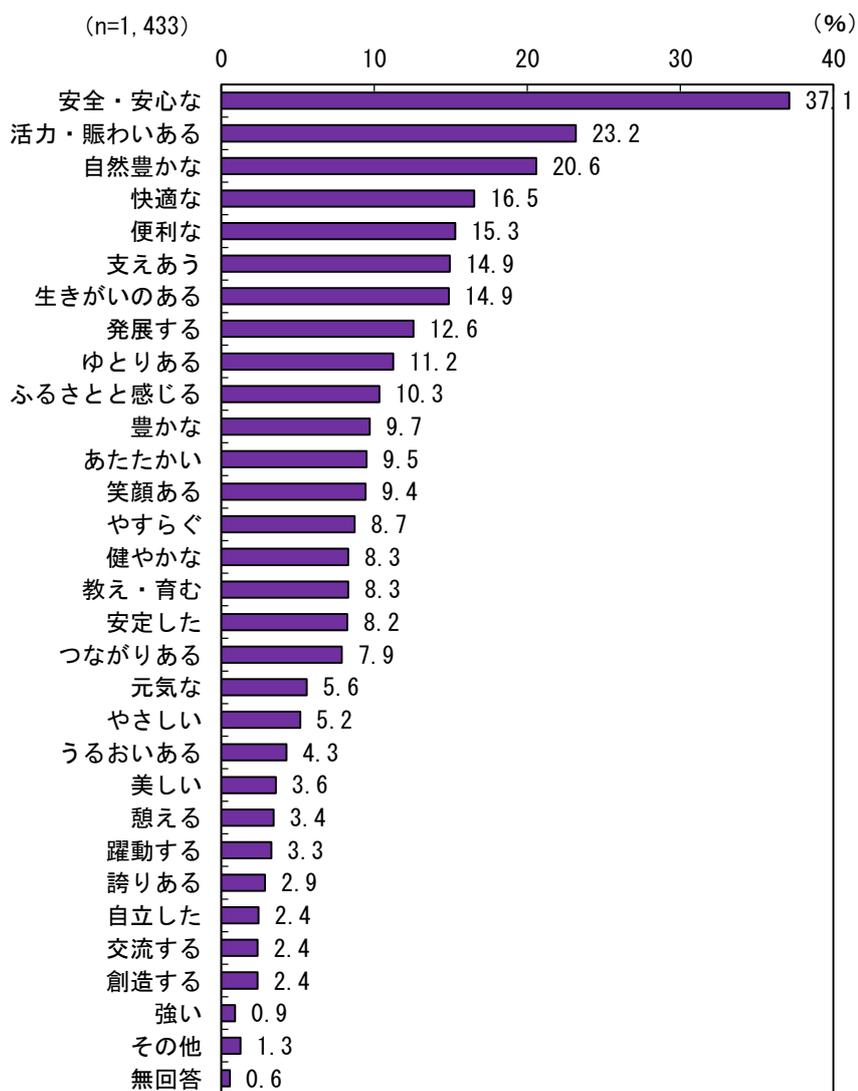
居住地域別にみると、東部では、他の地域と比べて評価点平均が低くなっています。また、東部では「(11)緑地や公園が多い」、南部では「(9)文化・芸術に親しみ楽しむことができる」の評価が他の地域と比べて低くなっています。一方、東部と南部では、「(8)スポーツに親しみ楽しむことができる」がそれぞれ上位10位に入っています。

3. 未来の甲府市のあるべき姿について

(1) 未来の甲府市の姿としてふさわしいキーワード

問4. あなたが描く未来の甲府市の姿として、どのようなキーワードがふさわしいと思いますか。
(○印は3つまで)

<全体>



◆未来の甲府市の姿にふさわしいキーワードは、安全・安心なが最も多い

未来の甲府市の姿にふさわしいキーワードとしては、「安全・安心な」が 37.1%で最も多く、「活力・賑わいある」が 23.2%、「自然豊かな」が 20.6%、「快適な」が 16.5%、「便利な」が 15.3%で上位となっています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目		全体	あたたかい	やさしい	やすらぐ	憩える	ある	うるおい	ゆとりある	健やかな	笑顔ある	誇りある	ある	生きがいの	豊かな	発展する	便利な	快適な	交流する	躍動する		
属性																						
全体		1,433 100.0	136 9.5	74 5.2	125 8.7	49 3.4	61 4.3	161 11.2	119 8.3	135 9.4	41 2.9	213 14.9	139 9.7	180 12.6	219 15.3	237 16.5	34 2.4	47 3.3				
性別	男性	583 100.0	53 9.1	34 5.8	50 8.6	15 2.6	20 3.4	62 10.6	42 7.2	49 8.4	21 3.6	87 14.9	52 8.9	87 14.9	99 17.0	98 16.8	15 2.6	22 3.8				
	女性	780 100.0	79 10.1	37 4.7	70 9.0	31 4.0	35 4.5	88 11.3	72 9.2	78 10.0	14 1.8	121 15.5	81 10.4	85 10.9	110 14.1	126 16.2	18 2.3	23 2.9				
年齢	18～29歳	169 100.0	26 15.4	7 4.1	15 8.9	5 3.0	6 3.6	13 7.7	9 5.3	14 8.3	4 2.4	7 4.1	13 7.7	24 14.2	47 27.8	35 20.7	2 1.2	4 2.4				
	30～39歳	188 100.0	13 6.9	10 5.3	11 5.9	10 5.3	11 5.9	14 7.4	18 9.6	19 10.1	8 4.3	7 3.7	17 9.0	26 13.8	32 17.0	39 20.7	4 2.1	8 4.3				
	40～49歳	215 100.0	10 4.7	10 4.7	24 11.2	9 4.2	9 4.2	26 12.1	15 7.0	24 11.2	7 3.3	15 7.0	24 11.2	33 15.3	27 12.6	47 21.9	4 1.9	5 2.3				
	50～59歳	239 100.0	25 10.5	14 5.9	22 9.2	3 1.3	7 2.9	28 11.7	22 9.2	25 10.5	10 4.2	22 9.2	22 9.2	29 12.1	29 12.1	38 15.9	10 4.2	6 2.5				
	60～69歳	303 100.0	27 8.9	17 5.6	33 10.9	16 5.3	16 5.3	46 15.2	36 11.9	28 9.2	4 1.3	74 24.4	31 10.2	26 8.6	41 13.5	37 12.2	5 1.7	11 3.6				
	70歳以上	301 100.0	34 11.3	15 5.0	18 6.0	6 2.0	8 2.7	34 11.3	19 6.3	23 7.6	6 2.0	86 28.6	31 10.3	42 14.0	41 13.6	36 12.0	8 2.7	13 4.3				
	居住地	東部	256 100.0	22 8.6	12 4.7	22 8.6	8 3.1	11 4.3	28 10.9	24 9.4	25 9.8	8 3.1	36 14.1	30 11.7	31 12.1	34 13.3	46 18.0	10 3.9	8 3.1			
		西部	236 100.0	15 6.4	8 3.4	23 9.7	9 3.8	11 4.7	26 11.0	25 10.6	16 6.8	2 0.8	33 14.0	27 11.4	26 11.0	42 17.8	39 16.5	7 3.0	9 3.8			
南部		481 100.0	48 10.0	22 4.6	38 7.9	14 2.9	18 3.7	56 11.6	35 7.3	59 12.3	18 3.7	87 18.1	45 9.4	68 14.1	74 15.4	70 14.6	9 1.9	19 4.0				
北部		260 100.0	30 11.5	17 6.5	24 9.2	8 3.1	9 3.5	35 13.5	23 8.8	20 7.7	7 2.7	34 13.1	20 7.7	26 10.0	33 12.7	51 19.6	5 1.9	4 1.5				
中央部		178 100.0	16 9.0	14 7.9	17 9.6	10 5.6	7 3.9	16 9.0	11 6.2	13 7.3	5 2.8	20 11.2	16 9.0	26 14.6	32 18.0	25 14.0	2 1.1	6 3.4				

項目		全体	元気な	賑わいある	活力・強い	創造する	ある	つながり	支えあう	教え・育む	自立した	安定した	安心な	安全・自然豊かな	感じる	ふるさと	美しい	その他	無回答		
属性																					
全体		1,433 100.0	80 5.6	332 23.2	13 0.9	34 2.4	113 7.9	214 14.9	119 8.3	35 2.4	118 8.2	532 37.1	295 20.6	148 10.3	51 3.6	18 1.3	18 1.3	8 0.6			
性別	男性	583 100.0	39 6.7	137 23.5	6 1.0	20 3.4	42 7.2	57 9.8	48 8.2	21 3.6	41 7.0	221 37.9	124 21.3	63 10.8	30 5.1	10 1.7	3 0.5				
	女性	780 100.0	35 4.5	179 22.9	6 0.8	14 1.8	64 8.2	145 18.6	69 8.8	12 1.5	74 9.5	289 37.1	155 19.9	78 10.0	19 2.4	8 1.0	3 0.4				
年齢	18～29歳	169 100.0	5 3.0	45 26.6	2 1.2	2 1.2	17 10.1	15 8.9	14 8.3	4 2.4	11 6.5	57 33.7	41 24.3	23 13.6	13 7.7	3 1.8	1 0.6				
	30～39歳	188 100.0	6 3.2	50 26.6	1 0.5	3 1.6	16 8.5	29 14.9	29 15.4	3 1.6	15 8.0	58 30.9	38 20.2	19 10.1	7 3.7	4 2.1	0 0.0				
	40～49歳	215 100.0	13 6.0	51 23.7	0 0.0	3 1.4	26 12.1	28 13.0	27 12.6	4 1.9	24 11.2	69 32.1	41 19.1	18 8.4	6 2.8	2 0.9	1 0.5				
	50～59歳	239 100.0	9 3.8	48 20.1	2 0.8	2 2.5	20 8.4	34 14.2	14 5.9	11 4.6	21 8.8	95 39.7	59 24.7	22 9.2	9 3.8	5 2.1	2 0.8				
	60～69歳	303 100.0	22 7.3	70 23.1	2 0.7	11 3.6	15 5.0	49 16.2	15 5.0	5 1.7	25 8.3	128 42.2	58 19.1	26 8.6	6 2.0	2 0.7	1 0.3				
	70歳以上	301 100.0	22 7.3	64 21.3	6 2.0	9 3.0	19 6.3	55 18.3	20 6.6	8 2.7	22 7.3	119 39.5	56 18.6	37 12.3	9 3.0	2 0.7	2 0.7				
	居住地	東部	256 100.0	12 4.7	61 23.8	1 0.4	5 2.0	20 7.8	34 13.3	24 9.4	5 2.0	20 7.8	99 38.7	50 19.5	29 11.3	8 3.1	1 0.4	1 0.4			
		西部	236 100.0	11 4.7	49 20.8	2 0.8	4 1.7	16 6.8	45 19.1	17 7.2	6 2.5	27 11.4	86 36.4	47 19.9	25 10.6	8 3.4	2 0.8	1 0.4			
南部		481 100.0	28 5.8	100 20.8	6 1.2	14 2.9	40 8.3	70 14.6	47 9.8	13 2.7	40 8.3	170 35.3	94 19.5	53 11.0	20 4.2	7 1.5	0 0.0				
北部		260 100.0	13 5.0	63 24.2	3 1.2	6 2.3	23 8.8	41 15.8	23 8.8	7 2.7	19 7.3	109 41.9	63 24.2	13 5.0	7 2.7	5 1.9	3 1.2				
中央部		178 100.0	14 7.9	51 28.7	1 0.6	5 2.8	14 7.9	21 11.8	8 4.5	4 2.2	11 6.2	61 34.3	40 22.5	26 14.6	7 3.9	3 1.7	2 1.1				

すべての属性で「安全・安心な」が最も多くなっています。

性別にみると、上位は全体の回答傾向と同様であり、大きな違いはありません。

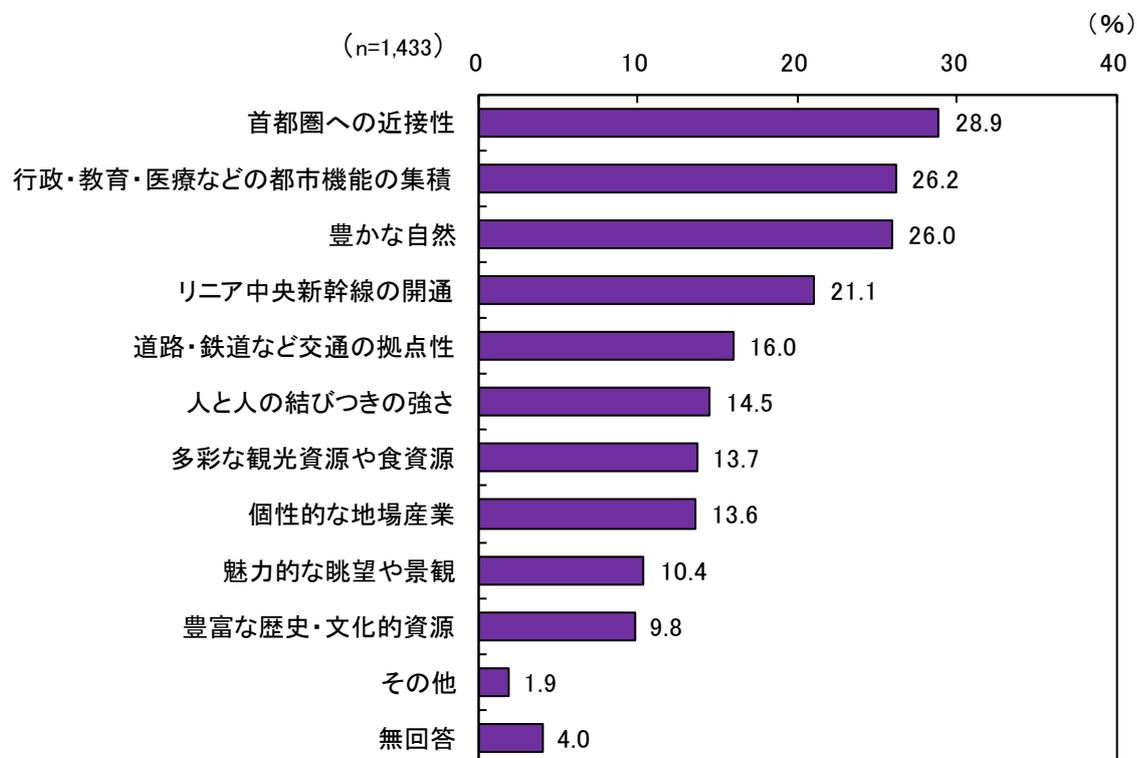
年齢別にみると、18～29 歳では「便利な」、30 歳代及び 40 歳代では「快適な」、60 歳代及び 70 歳以上では「生きがいのある」がそれぞれ上位となっています。

居住地域別にみると、上位は全体の回答傾向と同様であり、大きな違いはありません。

(2) 未来に活かしていきたい甲府市の魅力

問5. あなたの考える未来に活かしていきたい甲府市の魅力とは何ですか。(〇印は2つまで)

<全体>



◆未来に活かしていきたい甲府市の魅力は首都圏への近接性・都市機能の集積・豊かな自然

未来に活かしていきたい甲府市の魅力としては、「首都圏への近接性」が 28.9%で最も多く、「行政・教育・医療などの都市機能の集積」が 26.2%、「豊かな自然」が 26.0%、「リニア中央新幹線の開通」が 21.1%で上位となっています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目 属性	全体	首都圏への近接性	道路・鉄道など交通の拠点性	行政・教育・医療などの都市機能の集積	リニア中央新幹線の開通	人と人の結びつきの強さ	豊富な歴史・文化的資源	豊かな自然	個性的な地場産業	多彩な観光資源や食資源	魅力的な眺望や景観	その他	無回答	
	全体	1,433 100.0	414 28.9	229 16.0	375 26.2	302 21.1	208 14.5	140 9.8	372 26.0	195 13.6	196 13.7	149 10.4	27 1.9	57 4.0
性別	男性	583 100.0	183 31.4	94 16.1	153 26.2	138 23.7	66 11.3	59 10.1	158 27.1	79 13.6	69 11.8	65 11.1	12 2.1	17 2.9
	女性	780 100.0	208 26.7	120 15.4	206 26.4	153 19.6	129 16.5	76 9.7	195 25.0	109 14.0	119 15.3	78 10.0	12 1.5	35 4.5
年齢	18～29歳	169 100.0	62 36.7	26 15.4	23 13.6	62 36.7	19 11.2	13 7.7	44 26.0	16 9.5	19 11.2	25 14.8	5 3.0	5 3.0
	30～39歳	188 100.0	60 31.9	35 18.6	40 21.3	55 29.3	14 7.4	21 11.2	41 21.8	14 7.4	24 12.8	21 11.2	5 2.7	7 3.7
	40～49歳	215 100.0	69 32.1	38 17.7	44 20.5	49 22.8	26 12.1	23 10.7	50 23.3	26 12.1	25 11.6	24 11.2	2 0.9	12 5.6
	50～59歳	239 100.0	77 32.2	42 17.6	53 22.2	48 20.1	30 12.6	16 6.7	66 27.6	32 13.4	41 17.2	28 11.7	6 2.5	5 2.1
	60～69歳	303 100.0	85 28.1	43 14.2	99 32.7	47 15.5	50 16.5	38 12.5	88 29.0	45 14.9	46 15.2	21 6.9	3 1.0	9 3.0
	70歳以上	301 100.0	56 18.6	40 13.3	114 37.9	36 12.0	68 22.6	28 9.3	80 26.6	59 19.6	39 13.0	27 9.0	5 1.7	17 5.6
	居住地域	東部	256 100.0	76 29.7	51 19.9	70 27.3	45 17.6	44 17.2	24 9.4	52 20.3	36 14.1	33 12.9	24 9.4	3 1.2
西部		236 100.0	72 30.5	35 14.8	64 27.1	46 19.5	31 13.1	27 11.4	65 27.5	25 10.6	35 14.8	26 11.0	5 2.1	8 3.4
南部		481 100.0	131 27.2	81 16.8	131 27.2	122 25.4	70 14.6	47 9.8	116 24.1	71 14.8	58 12.1	42 8.7	8 1.7	21 4.4
北部		260 100.0	75 28.8	37 14.2	66 25.4	50 19.2	40 15.4	18 6.9	83 31.9	30 11.5	38 14.6	33 12.7	7 2.7	12 4.6
中央部		178 100.0	56 31.5	21 11.8	40 22.5	32 18.0	20 11.2	21 11.8	49 27.5	31 17.4	28 15.7	22 12.4	3 1.7	5 2.8

性別にみると、男女とも上位は全体の回答傾向と同様ですが、男性は「首都圏への近接性」が女性を4.7ポイント上回っています。

年齢別にみると、18歳～50歳代までは「首都圏への近接性」、60歳代及び70歳以上では「行政・教育・医療などの都市機能の集積」がそれぞれ最も多くなっています。また、18歳～40歳代では「リニア中央新幹線の開通」が上位に入っており、70歳以上では「人と人の結びつきの強さ」が上位に入っています。

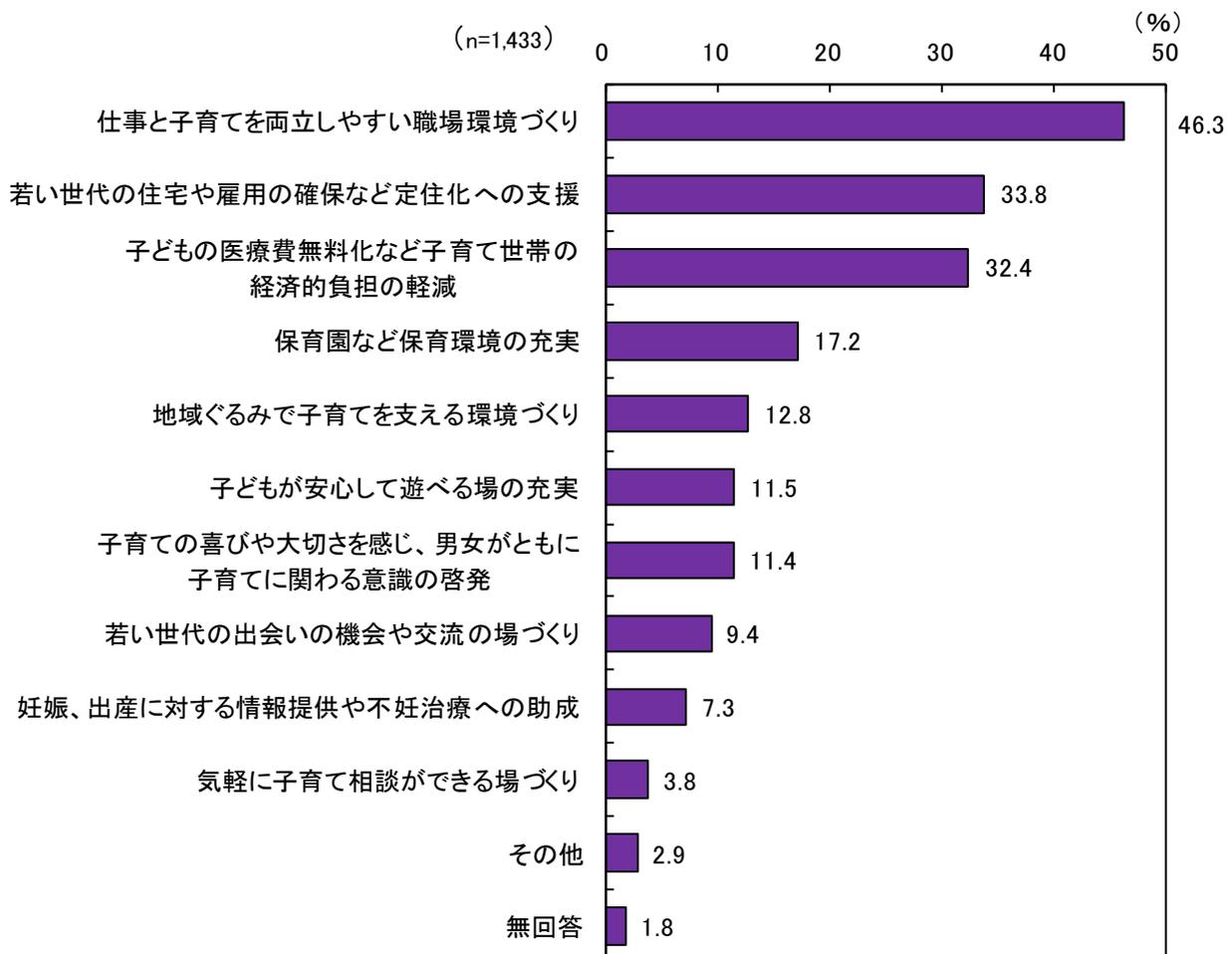
居住地域別にみると、東部・西部・南部・中央部では「首都圏への近接性」が、北部では「豊かな自然」が最も多くなっています。また、南部では「リニア中央新幹線の開通」が25%を超え、上位に入っています。

4. これからのまちづくりについて

(1) 少子化への対応

問6. あなたは、少子化への対応として、どのようなことが重要だと思いますか。
(○印は2つまで)

<全体>



◆仕事と子育ての両立支援が最も重要

少子化への対応としては、「仕事と子育てを両立しやすい職場環境づくり」が 46.3%で最も多く、「若い世代の住宅や雇用の確保など定住化への支援」が 33.8%、「子どもの医療費無料化など子育て世帯の経済的負担の軽減」が 32.4%で上位となっています。このほか、「保育園など保育環境の充実」が 17.2%、「地域ぐるみで子育てを支える環境づくり」が 12.8%で続きます。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目		全体	保育園など保育環境の充実	地域ぐるみで子育てを支える環境づくり	仕事と子育てを両立しやすい職場環境づくり	子どもの医療費無料化など子育て世帯の経済的負担の軽減	妊娠、出産に対する情報提供や不妊治療への助成	子どもが安心して遊べる場の充実	気軽に子育て相談ができる場づくり	若い世代の住宅や雇用の確保など定住化への支援	若い世代の出会いの機会や交流の場づくり	子育ての喜びや大切さを感じ、男女がともに子育てに関わる意識の啓発	その他	無回答
属性														
全体		1,433 100.0	246 17.2	183 12.8	663 46.3	464 32.4	104 7.3	165 11.5	55 3.8	484 33.8	135 9.4	164 11.4	41 2.9	26 1.8
性別	男性	583 100.0	100 17.2	68 11.7	250 42.9	209 35.8	33 5.7	60 10.3	15 2.6	228 39.1	64 11.0	43 7.4	22 3.8	9 1.5
	女性	780 100.0	132 16.9	104 13.3	382 49.0	240 30.8	67 8.6	96 12.3	36 4.6	233 29.9	65 8.3	110 14.1	16 2.1	14 1.8
年齢	18～29歳	169 100.0	35 20.7	14 8.3	81 47.9	58 34.3	20 11.8	20 11.8	7 4.1	57 33.7	12 7.1	12 7.1	6 3.6	3 1.8
	30～39歳	188 100.0	34 18.1	17 9.0	85 45.2	91 48.4	29 15.4	32 17.0	6 3.2	41 21.8	12 6.4	7 3.7	5 2.7	2 1.1
	40～49歳	215 100.0	36 16.7	28 13.0	100 46.5	91 42.3	26 12.1	24 11.2	3 1.4	58 27.0	9 4.2	22 10.2	7 3.3	4 1.9
	50～59歳	239 100.0	41 17.2	32 13.4	115 48.1	64 26.8	10 4.2	22 9.2	17 7.1	82 34.3	17 7.1	35 14.6	9 3.8	1 0.4
	60～69歳	303 100.0	51 16.8	41 13.5	142 46.9	88 29.0	10 3.3	29 9.6	12 4.0	125 41.3	37 12.2	38 12.5	9 3.0	3 1.0
	70歳以上	301 100.0	44 14.6	47 15.6	131 43.5	69 22.9	8 2.7	36 12.0	9 3.0	115 38.2	47 15.6	48 15.9	4 1.3	13 4.3
	居住地域	東部	256 100.0	53 20.7	28 10.9	113 44.1	82 32.0	15 5.9	35 13.7	12 4.7	76 29.7	28 10.9	30 11.7	8 3.1
西部		236 100.0	41 17.4	24 10.2	111 47.0	83 35.2	19 8.1	24 10.2	5 2.1	85 36.0	17 7.2	25 10.6	5 2.1	6 2.5
南部		481 100.0	74 15.4	58 12.1	223 46.4	154 32.0	43 8.9	49 10.2	21 4.4	165 34.3	56 11.6	60 12.5	18 3.7	1 0.2
北部		260 100.0	38 14.6	45 17.3	131 50.4	84 32.3	13 5.0	36 13.8	9 3.5	87 33.5	16 6.2	24 9.2	4 1.5	12 4.6
中央部		178 100.0	35 19.7	22 12.4	76 42.7	58 32.6	12 6.7	19 10.7	6 3.4	63 35.4	16 9.0	23 12.9	5 2.8	3 1.7

性別にみると、男女とも上位は全体の回答傾向と同様ですが、女性は「仕事と子育てを両立しやすい職場環境づくり」が男性を6.1ポイント上回っています。一方、男性は「若い世代の住宅や雇用の確保など定住化への支援」が9.2ポイント、「子どもの医療費無料化など子育て世帯の経済的負担の軽減」が5.0ポイントそれぞれ女性を上回っています。

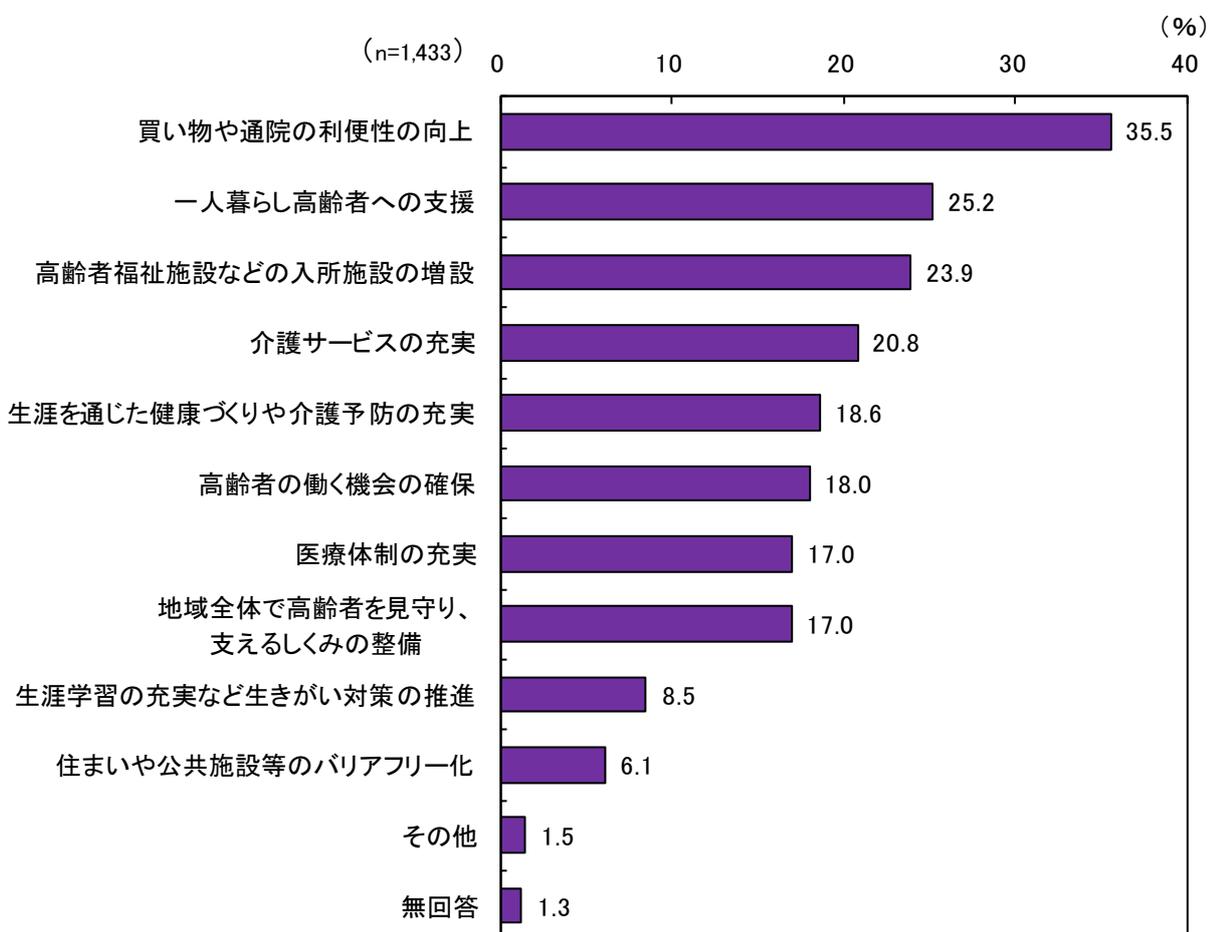
年齢別にみると、30歳代では「子どもの医療費無料化など子育て世帯の経済的負担の軽減」が最も多くなっています。

居住地域別にみると、上位は全体の回答傾向と同様であり、大きな違いはありません。

(2) 高齢化への対応

問7. あなたは、**高齢化への対応**として、**どのようなことが重要**だと思いますか。
(○印は2つまで)

<全体>



◆**買い物や通院の利便性の向上が最も重要**

高齢化への対応としては、「買い物や通院の利便性の向上」が 35.5%で最も多く、「一人暮らし高齢者への支援」が 25.2%、「高齢者福祉施設などの入所施設の増設」が 23.9%、「介護サービスの充実」が 20.8%で上位となっています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目		全体	向上 買い物や通院の利便性の 向上	生涯を通じた健康づくりや 介護予防の充実	介護サービスの充実	医療体制の充実	一人暮らし高齢者への支援	高齢者福祉施設などの 入所施設の増設	全体で高齢者を見守り、 支えるしくみの整備	生涯学習の充実など 生きがい対策の推進	高齢者の働く機会の確保	住まいや公共施設等の バリアフリー化	その他	無回答
属性														
全体		1,433 100.0	509 35.5	267 18.6	298 20.8	244 17.0	361 25.2	343 23.9	243 17.0	122 8.5	258 18.0	87 6.1	21 1.5	18 1.3
性別	男性	583 100.0	198 34.0	113 19.4	125 21.4	99 17.0	133 22.8	144 24.7	105 18.0	52 8.9	108 18.5	32 5.5	11 1.9	7 1.2
	女性	780 100.0	289 37.1	140 17.9	158 20.3	132 16.9	209 26.8	181 23.2	125 16.0	66 8.5	136 17.4	53 6.8	8 1.0	10 1.3
年齢	18～ 29歳	169 100.0	66 39.1	30 17.8	36 21.3	22 13.0	51 30.2	24 14.2	22 13.0	17 10.1	27 16.0	20 11.8	3 1.8	3 1.8
	30～ 39歳	188 100.0	76 40.4	30 16.0	47 25.0	30 16.0	50 26.6	40 21.3	22 11.7	12 6.4	35 18.6	13 6.9	4 2.1	0 0.0
	40～ 49歳	215 100.0	82 38.1	34 15.8	50 23.3	39 18.1	48 22.3	39 18.1	37 17.2	18 8.4	41 19.1	15 7.0	2 0.9	6 2.8
	50～ 59歳	239 100.0	74 31.0	38 15.9	55 23.0	41 17.2	70 29.3	53 22.2	50 20.9	22 9.2	43 18.0	15 6.3	5 2.1	0 0.0
	60～ 69歳	303 100.0	95 31.4	58 19.1	62 20.5	60 19.8	72 23.8	83 27.4	56 18.5	27 8.9	64 21.1	9 3.0	3 1.0	4 1.3
	70歳 以上	301 100.0	112 37.2	73 24.3	42 14.0	50 16.6	67 22.3	99 32.9	55 18.3	24 8.0	44 14.6	14 4.7	3 1.0	5 1.7
	居住地域	東部	256 100.0	85 33.2	43 16.8	56 21.9	51 19.9	64 25.0	60 23.4	34 13.3	28 10.9	49 19.1	10 3.9	5 2.0
西部		236 100.0	86 36.4	50 21.2	53 22.5	44 18.6	59 25.0	58 24.6	38 16.1	17 7.2	32 13.6	15 6.4	3 1.3	3 1.3
南部		481 100.0	171 35.6	93 19.3	98 20.4	74 15.4	126 26.2	103 21.4	93 19.3	41 8.5	97 20.2	29 6.0	7 1.5	4 0.8
北部		260 100.0	100 38.5	51 19.6	52 20.0	38 14.6	67 25.8	72 27.7	41 15.8	16 6.2	40 15.4	20 7.7	1 0.4	5 1.9
中央部		178 100.0	60 33.7	25 14.0	32 18.0	33 18.5	41 23.0	48 27.0	33 18.5	18 10.1	35 19.7	12 6.7	4 2.2	2 1.1

すべての属性で「買い物や通院の利便性の向上」が最も多くなっています。

性別にみると、上位は全体の回答傾向と同様であり、大きな違いはありません。

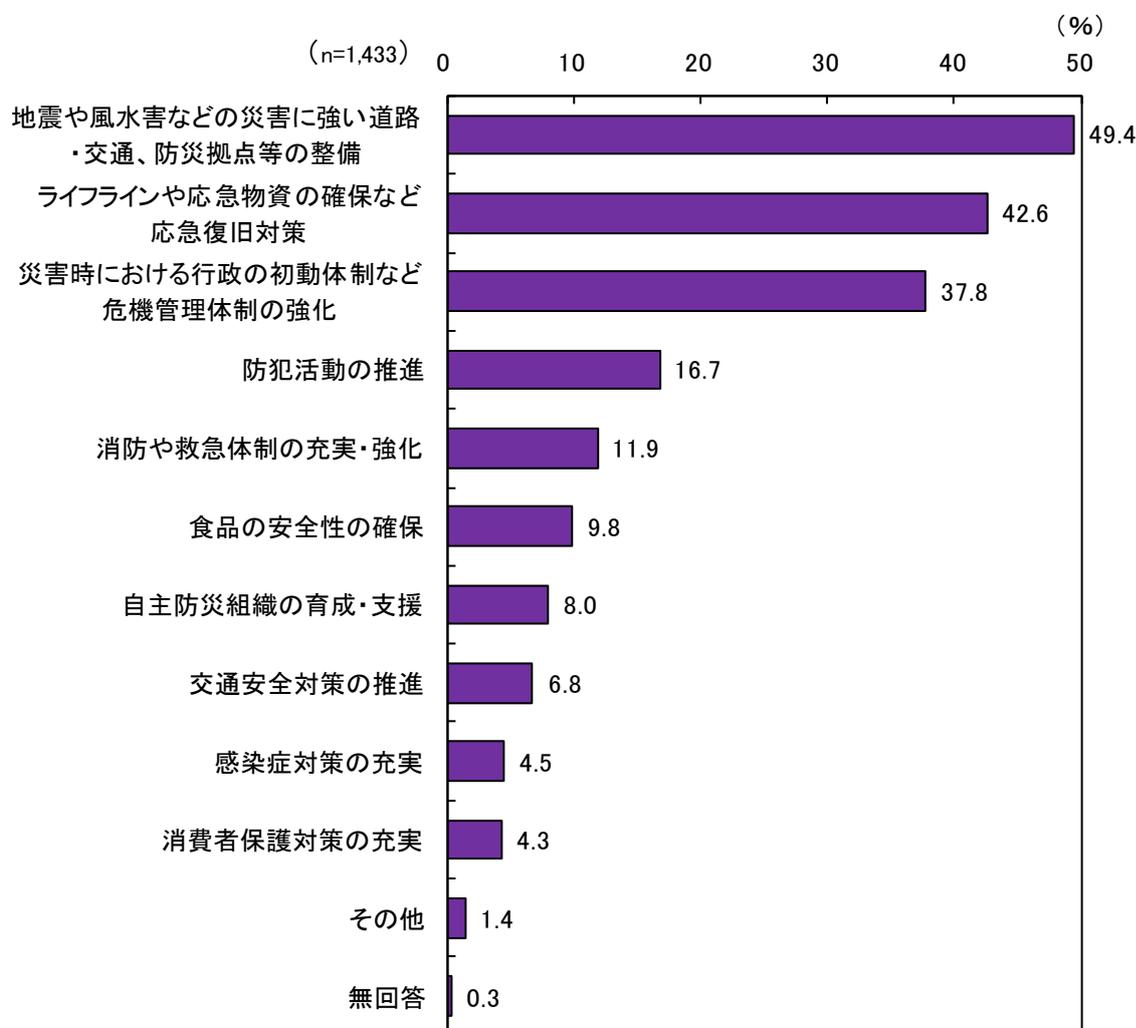
年齢別にみると、18歳～50歳代では「介護サービスの充実」が、70歳以上では「生涯を通じた健康づくりや介護予防の充実」が上位に入っています。

居住地域別にみると、上位は全体の回答傾向と同様であり、大きな違いはありませんが、北部と中央部では「高齢者福祉施設などの入所施設の増設」が他の地域と比べてやや多い傾向がみられます。

(3) 安全・安心なまち

問8. あなたは、安全・安心なまちとしていくために、どのようなことが重要だと思いますか。
(○印は2つまで)

<全体>



◆災害に強いインフラの整備、応急復旧対策、危機管理体制の強化が重要

安全・安心なまちとしていくためとしては、「地震や風水害などの災害に強い道路・交通、防災拠点等の整備」が 49.4%で最も多く、「ライフラインや応急物資の確保など応急復旧対策」が 42.6%、「災害時における行政の初動体制など危機管理体制の強化」が 37.8%で上位となっています。このほか、「防犯活動の推進」が 16.7%、「消防や救急体制の充実・強化」が 11.9%で続きます。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目 属性	全体	地震や風水害などの 災害に強い道路・交通、 防災拠点等の整備	ライフラインや応急物資の 確保など応急復旧対策	自主防災組織の育成・支援	災害時における行政の初動 体制など危機管理体制の強化	消防や救急体制の充実・強化	防犯活動の推進	交通安全対策の推進	食品の安全性の確保	消費者保護対策の充実	感染症対策の充実	その他	無回答	
	全体	1,433 100.0	708 49.4	610 42.6	114 8.0	541 37.8	170 11.9	240 16.7	97 6.8	141 9.8	61 4.3	64 4.5	20 1.4	5 0.3
性別	男性	583 100.0	284 48.7	243 41.7	50 8.6	206 35.3	79 13.6	113 19.4	45 7.7	47 8.1	26 4.5	23 3.9	10 1.7	0 0.0
	女性	780 100.0	385 49.4	349 44.7	61 7.8	306 39.2	83 10.6	115 14.7	45 5.8	88 11.3	32 4.1	35 4.5	7 0.9	4 0.5
年齢	18～ 29歳	169 100.0	86 50.9	75 44.4	11 6.5	59 34.9	17 10.1	26 15.4	22 13.0	15 8.9	2 1.2	8 4.7	2 1.2	0 0.0
	30～ 39歳	188 100.0	89 47.3	97 51.6	5 2.7	68 36.2	24 12.8	26 13.8	17 9.0	13 6.9	4 2.1	13 6.9	5 2.7	0 0.0
	40～ 49歳	215 100.0	109 50.7	95 44.2	19 8.8	70 32.6	21 9.8	56 26.0	21 9.8	15 7.0	4 1.9	6 2.8	4 1.9	0 0.0
	50～ 59歳	239 100.0	111 46.4	123 51.5	22 9.2	76 31.8	26 10.9	45 18.8	13 5.4	16 6.7	12 5.0	9 3.8	6 2.5	1 0.4
	60～ 69歳	303 100.0	145 47.9	123 40.6	32 10.6	139 45.9	34 11.2	43 14.2	14 4.6	30 9.9	11 3.6	13 4.3	3 1.0	2 0.7
	70歳 以上	301 100.0	158 52.5	92 30.6	23 7.6	122 40.5	47 15.6	41 13.6	9 3.0	51 16.9	27 9.0	12 4.0	0 0.0	2 0.7
	居住地域	東部	256 100.0	113 44.1	98 38.3	20 7.8	92 35.9	35 13.7	53 20.7	14 5.5	29 11.3	14 5.5	16 6.3	6 2.3
西部		236 100.0	113 47.9	105 44.5	21 8.9	82 34.7	27 11.4	39 16.5	16 6.8	28 11.9	13 5.5	11 4.7	3 1.3	1 0.4
南部		481 100.0	251 52.2	206 42.8	38 7.9	185 38.5	56 11.6	79 16.4	36 7.5	34 7.1	15 3.1	19 4.0	6 1.2	3 0.6
北部		260 100.0	136 52.3	108 41.5	20 7.7	103 39.6	27 10.4	43 16.5	16 6.2	30 11.5	13 5.0	6 2.3	3 1.2	1 0.4
中央部		178 100.0	87 48.9	82 46.1	12 6.7	73 41.0	21 11.8	25 14.0	14 7.9	16 9.0	5 2.8	8 4.5	2 1.1	0 0.0

性別にみると、上位は全体の回答傾向と同様であり、大きな違いはありません。

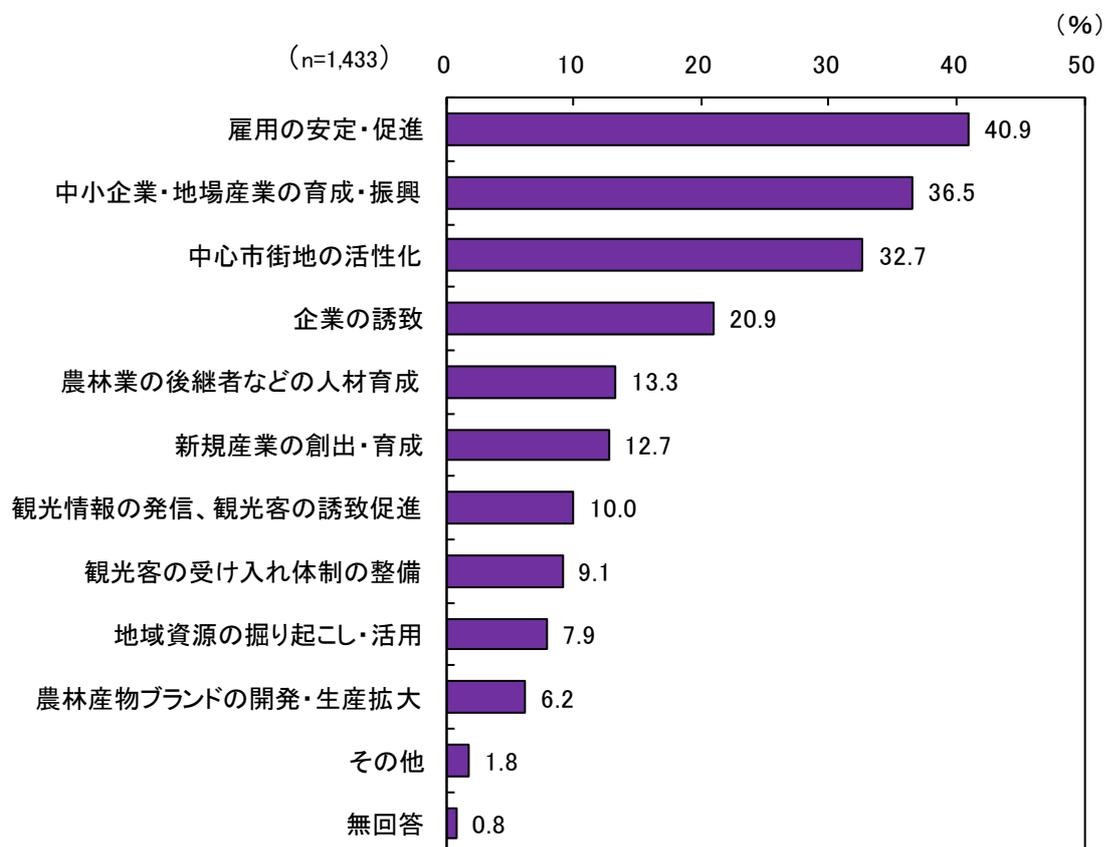
年齢別にみると、30歳代及び50歳代では「ライフラインや応急物資の確保など応急復旧対策」が50%を超え、最も多くなっています。また、60歳代及び70歳以上では「災害時における行政の初動体制など危機管理体制の強化」が他の年齢と比べて多くなっています。

居住地域別にみると、上位は全体の回答傾向と同様であり、大きな違いはありません。

(4) 市の産業の振興・活性化

問9. あなたは、市の産業の振興・活性化をしていくために、どのようなことが重要だと思いますか。(〇印は2つまで)

<全体>



◆雇用確保、地元企業の育成、中心市街地の活性化が重要

市の産業の振興・活性化をしていくために重要なこととしては、「雇用の安定・促進」が40.9%で最も多く、「中小企業・地場産業の育成・振興」が36.5%、「中心市街地の活性化」が32.7%で上位となっています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目 属性	全体	中小企業・地場産業の育成・振興	新規産業の創出・育成	企業の誘致	雇用の安定・促進	中心市街地の活性化	人材育成	農林業の後継者などの開発・生産拡大	農林産物ブランドの整備	観光客の受け入れ体制の整備	観光情報の発信、観光客の誘致促進	資源の掘り起こし・活用	その他	無回答
	全体	1,433 100.0	523 36.5	182 12.7	300 20.9	586 40.9	468 32.7	190 13.3	89 6.2	131 9.1	143 10.0	113 7.9	26 1.8	12 0.8
性別	男性	583 100.0	209 35.8	80 13.7	149 25.6	209 35.8	182 31.2	75 12.9	36 6.2	56 9.6	61 10.5	45 7.7	21 3.6	5 0.9
	女性	780 100.0	288 36.9	91 11.7	139 17.8	348 44.6	262 33.6	109 14.0	51 6.5	71 9.1	70 9.0	63 8.1	5 0.6	5 0.6
年齢	18～29歳	169 100.0	55 32.5	21 12.4	27 16.0	67 39.6	55 32.5	24 14.2	17 10.1	23 13.6	18 10.7	9 5.3	4 2.4	1 0.6
	30～39歳	188 100.0	67 35.6	22 11.7	45 23.9	70 37.2	63 33.5	21 11.2	13 6.9	25 13.3	18 9.6	13 6.9	6 3.2	0 0.0
	40～49歳	215 100.0	83 38.6	27 12.6	41 19.1	93 43.3	64 29.8	30 14.0	13 6.0	22 10.2	27 12.6	18 8.4	2 0.9	1 0.5
	50～59歳	239 100.0	88 36.8	27 11.3	49 20.5	106 44.4	79 33.1	31 13.0	13 5.4	17 7.1	27 11.3	18 7.5	4 1.7	0 0.0
	60～69歳	303 100.0	102 33.7	34 11.2	73 24.1	133 43.9	92 30.4	35 11.6	22 7.3	23 7.6	28 9.2	31 10.2	5 1.7	4 1.3
	70歳以上	301 100.0	119 39.5	48 15.9	62 20.6	111 36.9	112 37.2	49 16.3	9 3.0	19 6.3	23 7.6	23 7.6	5 1.7	5 1.7
	居住地域	東部	256 100.0	87 34.0	31 12.1	44 17.2	115 44.9	102 39.8	29 11.3	11 4.3	27 10.5	22 8.6	11 4.3	4 1.6
西部		236 100.0	93 39.4	35 14.8	44 18.6	105 44.5	71 30.1	28 11.9	15 6.4	25 10.6	12 5.1	21 8.9	5 2.1	2 0.8
南部		481 100.0	165 34.3	58 12.1	120 24.9	208 43.2	125 26.0	75 15.6	37 7.7	37 7.7	58 12.1	36 7.5	6 1.2	5 1.0
北部		260 100.0	94 36.2	36 13.8	53 20.4	93 35.8	83 31.9	37 14.2	16 6.2	24 9.2	30 11.5	29 11.2	7 2.7	1 0.4
中央部		178 100.0	75 42.1	19 10.7	33 18.5	56 31.5	83 46.6	20 11.2	8 4.5	15 8.4	19 10.7	14 7.9	4 2.2	1 0.6

性別にみると、男女とも上位は全体の回答傾向と同様ですが、女性は「雇用の安定・促進」が男性を 8.8 ポイント上回っています。一方、男性は「企業の誘致」が女性を 7.8 ポイント上回っています。

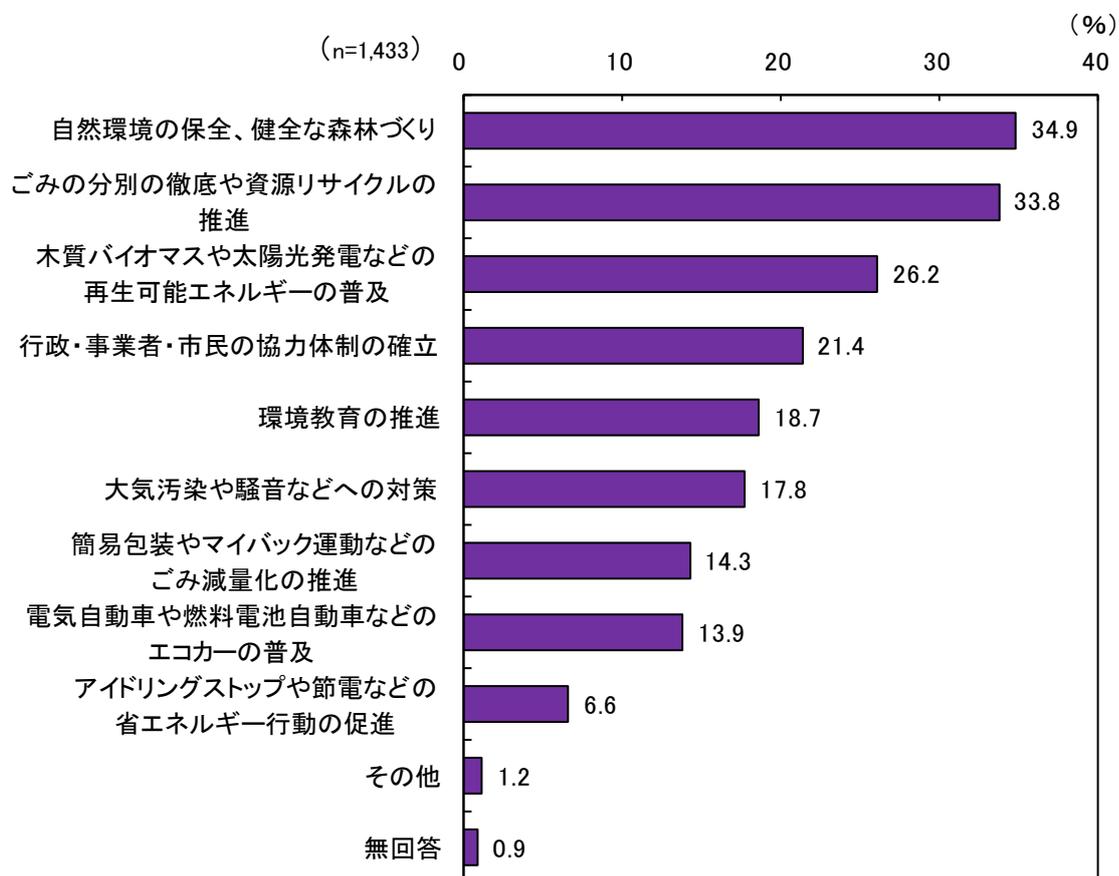
年齢別にみると、18歳～60歳代では「雇用の安定・促進」が最も多い一方、70歳以上では「中小企業・地場産業の育成・振興」が最も多くなっています。

居住地域別にみると、北部では「中小企業・地場産業の育成・振興」が最も多くなっています。また、中央部では「中心市街地の活性化」が最も多く、全体の回答割合を 13.9 ポイント上回っています。

(5) 環境問題への取組み

問10. あなたは、**環境問題への取組み**として、**どのようなことが重要**だと思いますか。
(○印は2つまで)

<全体>



◆自然環境の保全、ごみの分別・資源リサイクルが重要

環境問題への取組みとして重要なこととしては、「自然環境の保全、健全な森林づくり」が34.9%、「ごみの分別の徹底や資源リサイクルの推進」が33.8%でそれぞれ30%を超えており、「木質バイオマスや太陽光発電などの再生可能エネルギーの普及」が26.2%、「行政・事業者・市民の協力体制の確立」が21.4%で続きます。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目 属性	全体	自然環境の保全、健全な森林づくり	再生可能エネルギーの普及	木質バイオマスや太陽光発電などの	電気自動車や燃料電池自動車などの エコカーの普及	資源リサイクルの推進	ごみの分別の徹底や	省エネルギー行動の促進	省エネルギー行動の促進	アイドリングストップや節電などの	簡易包装やマイバック運動などの ごみ減量化の推進	環境教育の推進	大気汚染や騒音などへの対策	行政・事業者・市民の協力体制の確立	その他	無回答
	全体	1,433 100.0	500 34.9	375 26.2	199 13.9	484 33.8	95 6.6	205 14.3	268 18.7	255 17.8	307 21.4	17 1.2	13 0.9			
性別	男性	583 100.0	207 35.5	157 26.9	98 16.8	189 32.4	33 5.7	73 12.5	110 18.9	93 16.0	130 22.3	11 1.9	4 0.7			
	女性	780 100.0	270 34.6	198 25.4	86 11.0	279 35.8	56 7.2	118 15.1	143 18.3	153 19.6	163 20.9	6 0.8	7 0.9			
年齢	18～ 29歳	169 100.0	49 29.0	37 21.9	30 17.8	58 34.3	17 10.1	27 16.0	26 15.4	41 24.3	26 15.4	4 2.4	0 0.0			
	30～ 39歳	188 100.0	65 34.6	64 34.0	28 14.9	57 30.3	14 7.4	18 9.6	29 15.4	43 22.9	33 17.6	3 1.6	0 0.0			
	40～ 49歳	215 100.0	65 30.2	68 31.6	34 15.8	77 35.8	11 5.1	26 12.1	33 15.3	41 19.1	49 22.8	3 1.4	1 0.5			
	50～ 59歳	239 100.0	92 38.5	52 21.8	42 17.6	72 30.1	20 8.4	36 15.1	56 23.4	30 12.6	46 19.2	3 1.3	1 0.4			
	60～ 69歳	303 100.0	113 37.3	81 26.7	25 8.3	100 33.0	18 5.9	46 15.2	67 22.1	44 14.5	79 26.1	4 1.3	3 1.0			
	70歳 以上	301 100.0	109 36.2	65 21.6	33 11.0	116 38.5	14 4.7	48 15.9	55 18.3	56 18.6	72 23.9	0 0.0	8 2.7			
	居住地	東部	256 100.0	81 31.6	58 22.7	33 12.9	87 34.0	17 6.6	45 17.6	42 16.4	47 18.4	58 22.7	4 1.6	4 1.6		
西部		236 100.0	83 35.2	55 23.3	35 14.8	77 32.6	15 6.4	36 15.3	46 19.5	44 18.6	51 21.6	3 1.3	1 0.4			
南部		481 100.0	158 32.8	132 27.4	68 14.1	161 33.5	31 6.4	57 11.9	102 21.2	84 17.5	107 22.2	7 1.5	7 1.5			
北部		260 100.0	101 38.8	73 28.1	34 13.1	91 35.0	19 7.3	37 14.2	44 16.9	56 21.5	48 18.5	0 0.0	0 0.0			
中央部		178 100.0	69 38.8	50 28.1	23 12.9	63 35.4	13 7.3	26 14.6	31 17.4	19 10.7	39 21.9	3 1.7	1 0.6			

性別にみると、男性は「自然環境の保全、健全な森林づくり」、女性は「ごみの分別の徹底や資源リサイクルの推進」が最も多くなっています。

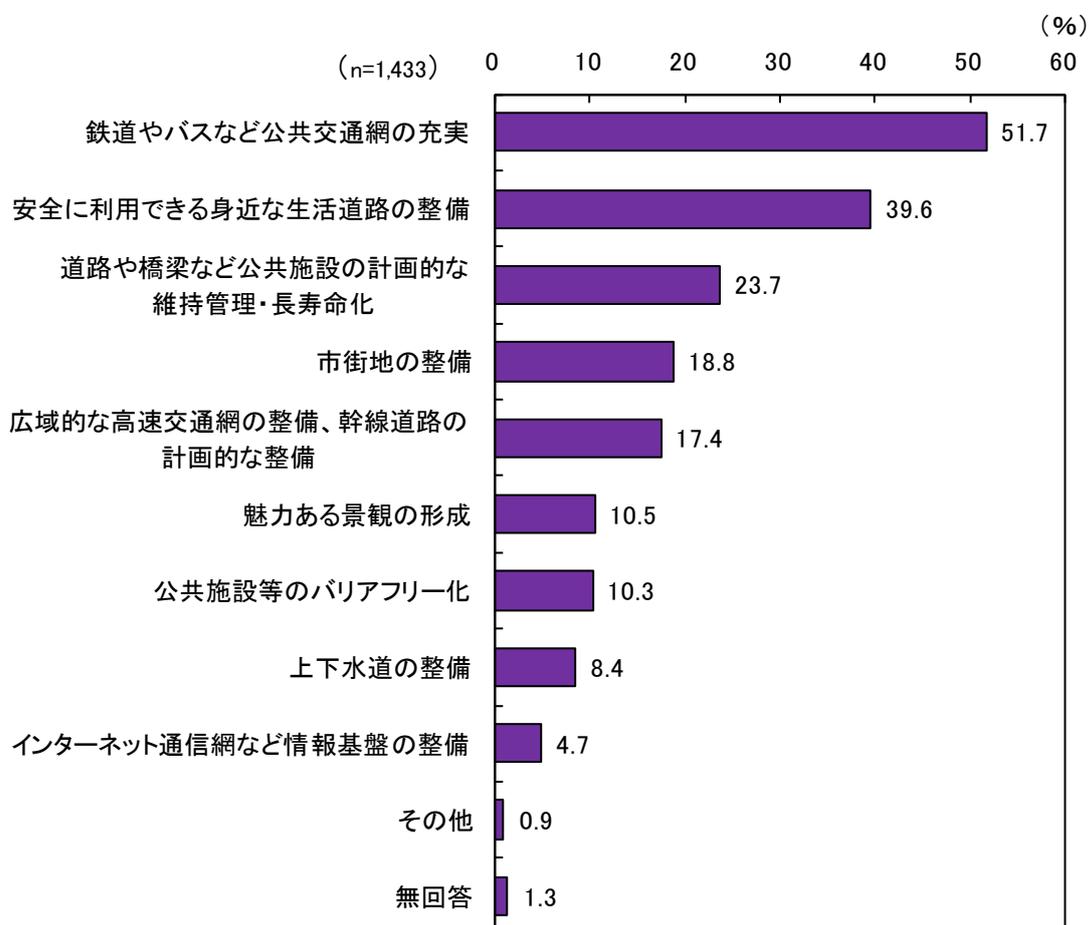
年齢別にみると、18～29歳・40歳代・70歳以上では「ごみの分別の徹底や資源リサイクルの推進」が最も多くなっています。また、18～29歳では「大気汚染や騒音などへの対策」、50歳代では「環境教育の推進」、70歳以上では「行政・事業者・市民の協力体制の確立」が上位に入っています。

居住地域別にみると、東部と南部では「ごみの分別の徹底や資源リサイクルの推進」が最も多くなっています。

(6) 都市基盤の整備

問 1 1. あなたは、都市基盤を整備するうえで、どのようなことが重要だと思いますか。
(○印は2つまで)

<全体>



◆公共交通網の充実が最も重要

都市基盤を整備するうえで重要なこととしては、「鉄道やバスなど公共交通網の充実」が 51.7%で最も多く、次いで、「安全に利用できる身近な生活道路の整備」が 39.6%となっています。このほか、「道路や橋梁など公共施設の計画的な維持管理・長寿命化」が 23.7%、「市街地の整備」が 18.8%、「広域的な高速交通網の整備、幹線道路の計画的な整備」が 17.4%で続きます。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目		全体	鉄道やバスなど 公共交通網の充実	広域的な高速交通網の整備、 幹線道路の計画的な整備	安全に利用できる身近な 生活道路の整備	上下水道の整備	魅力ある景観の形成	公共施設等のバリアフリー化	道路や橋梁など公共施設の 計画的な維持管理・長寿命化	市街地の整備	インターネット通信網など 情報基盤の整備	その他	無回答
属性													
全体		1,433 100.0	741 51.7	250 17.4	567 39.6	120 8.4	150 10.5	147 10.3	339 23.7	269 18.8	68 4.7	13 0.9	19 1.3
性別	男性	583 100.0	276 47.3	137 23.5	220 37.7	44 7.5	68 11.7	41 7.0	146 25.0	126 21.6	33 5.7	9 1.5	5 0.9
	女性	780 100.0	425 54.5	106 13.6	315 40.4	74 9.5	77 9.9	98 12.6	175 22.4	131 16.8	32 4.1	4 0.5	12 1.5
年齢	18～ 29歳	169 100.0	106 62.7	41 24.3	43 25.4	12 7.1	17 10.1	27 16.0	24 14.2	28 16.6	18 10.7	1 0.6	1 0.6
	30～ 39歳	188 100.0	112 59.6	43 22.9	53 28.2	14 7.4	21 11.2	28 14.9	28 14.9	36 19.1	13 6.9	1 0.5	2 1.1
	40～ 49歳	215 100.0	126 58.6	46 21.4	78 36.3	6 2.8	19 8.8	29 13.5	42 19.5	48 22.3	8 3.7	3 1.4	0 0.0
	50～ 59歳	239 100.0	129 54.0	39 16.3	101 42.3	14 5.9	26 10.9	19 7.9	55 23.0	41 17.2	11 4.6	4 1.7	2 0.8
	60～ 69歳	303 100.0	134 44.2	43 14.2	139 45.9	35 11.6	28 9.2	18 5.9	97 32.0	58 19.1	10 3.3	2 0.7	4 1.3
	70歳 以上	301 100.0	124 41.2	35 11.6	148 49.2	39 13.0	35 11.6	23 7.6	89 29.6	56 18.6	7 2.3	2 0.7	9 3.0
居住地域	東部	256 100.0	112 43.8	38 14.8	103 40.2	28 10.9	19 7.4	17 6.6	60 23.4	67 26.2	12 4.7	5 2.0	6 2.3
	西部	236 100.0	120 50.8	38 16.1	100 42.4	22 9.3	29 12.3	26 11.0	49 20.8	40 16.9	9 3.8	2 0.8	2 0.8
	南部	481 100.0	258 53.6	95 19.8	189 39.3	33 6.9	43 8.9	50 10.4	126 26.2	78 16.2	23 4.8	4 0.8	8 1.7
	北部	260 100.0	131 50.4	47 18.1	106 40.8	27 10.4	26 10.0	27 10.4	63 24.2	49 18.8	12 4.6	1 0.4	2 0.8
	中央部	178 100.0	109 61.2	30 16.9	60 33.7	7 3.9	29 16.3	23 12.9	36 20.2	34 19.1	10 5.6	1 0.6	1 0.6

性別にみると男女とも、上位は全体の回答傾向と同様ですが、女性は「鉄道やバスなど公共交通網の充実」が男性を7.2ポイント上回っています。

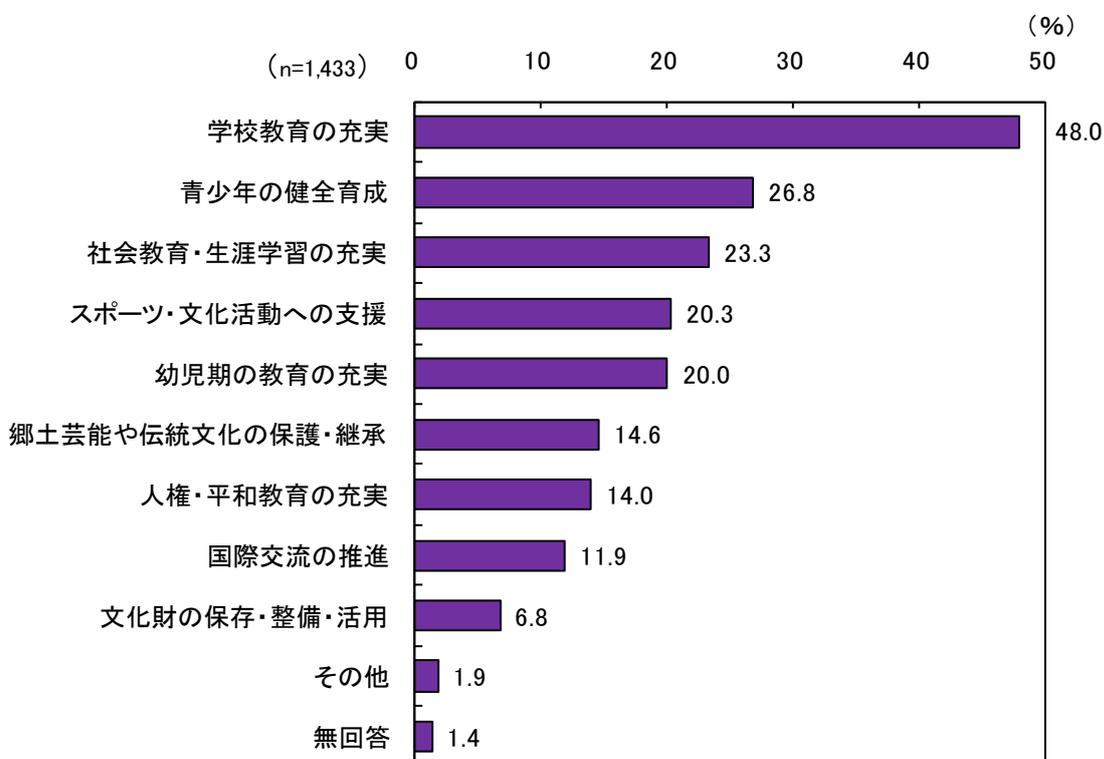
年齢別にみると、年齢が低いほど「鉄道やバスなど公共交通網の充実」や「広域的な高速交通網の整備、幹線道路の計画的な整備」が多くなっています。一方、概ね年齢が高いほど「安全に利用できる身近な生活道路の整備」と「道路や橋梁など公共施設の計画的な維持管理・長寿命化」が多くなっています。また、40歳代では「市街地の整備」が上位に入っています。

居住地域別にみると、中央部では「鉄道やバスなど公共交通網の充実」が61.2%で、他の地域と比べて多くなっています。また、東部では「鉄道やバスなど公共交通網の充実」が他の地域と比べて少ない一方、「市街地の整備」が26.2%で上位に入っています。

(7) 教育・文化に関する取組み

問12. あなたは、教育・文化に関する取組みとして、どのようなことが重要だと思いますか。
(○印は2つまで)

<全体>



◆学校教育の充実が最も重要

教育・文化に関する取組みで重要なこととしては、「学校教育の充実」が 48.0%で最も多くなっています。このほか、「青少年の健全育成」が 26.8%、「社会教育・生涯学習の充実」が 23.3%、「スポーツ・文化活動への支援」が 20.3%、「幼児期の教育の充実」が 20.0%で続きます。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目		全体	幼児期の教育の充実	学校教育の充実	青少年の健全育成	社会教育・生涯学習の充実	文化財の保存・整備・活用	郷土芸能や伝統文化の保護・継承	国際交流の推進	人権・平和教育の充実	スポーツ・文化活動への支援	その他	無回答
属性													
全体		1,433 100.0	287 20.0	688 48.0	384 26.8	334 23.3	97 6.8	209 14.6	170 11.9	200 14.0	291 20.3	27 1.9	20 1.4
性別	男性	583 100.0	123 21.1	268 46.0	164 28.1	127 21.8	39 6.7	88 15.1	71 12.2	74 12.7	137 23.5	12 2.1	7 1.2
	女性	780 100.0	150 19.2	386 49.5	202 25.9	189 24.2	55 7.1	115 14.7	87 11.2	116 14.9	140 17.9	14 1.8	10 1.3
年齢	18～29歳	169 100.0	40 23.7	82 48.5	40 23.7	36 21.3	7 4.1	30 17.8	21 12.4	21 12.4	41 24.3	1 0.6	0 0.0
	30～39歳	188 100.0	56 29.8	113 60.1	18 9.6	31 16.5	16 8.5	32 17.0	24 12.8	18 9.6	38 20.2	6 3.2	1 0.5
	40～49歳	215 100.0	41 19.1	112 52.1	42 19.5	52 24.2	17 7.9	28 13.0	36 16.7	23 10.7	52 24.2	7 3.3	0 0.0
	50～59歳	239 100.0	45 18.8	103 43.1	67 28.0	52 21.8	22 9.2	31 13.0	30 12.6	31 13.0	59 24.7	5 2.1	3 1.3
	60～69歳	303 100.0	48 15.8	133 43.9	104 34.3	92 30.4	17 5.6	47 15.5	25 8.3	49 16.2	55 18.2	4 1.3	1 0.3
	70歳以上	301 100.0	53 17.6	136 45.2	109 36.2	65 21.6	18 6.0	41 13.6	30 10.0	57 18.9	42 14.0	3 1.0	15 5.0
	居住地域	東部	256 100.0	56 21.9	120 46.9	72 28.1	61 23.8	19 7.4	33 12.9	31 12.1	32 12.5	46 18.0	7 2.7
西部		236 100.0	52 22.0	119 50.4	64 27.1	54 22.9	10 4.2	31 13.1	23 9.7	31 13.1	47 19.9	7 3.0	2 0.8
南部		481 100.0	99 20.6	230 47.8	130 27.0	118 24.5	25 5.2	75 15.6	63 13.1	61 12.7	105 21.8	6 1.2	7 1.5
北部		260 100.0	42 16.2	116 44.6	72 27.7	55 21.2	20 7.7	41 15.8	31 11.9	48 18.5	52 20.0	4 1.5	8 3.1
中央部		178 100.0	34 19.1	93 52.2	40 22.5	40 22.5	23 12.9	27 15.2	18 10.1	25 14.0	36 20.2	2 1.1	0 0.0

すべての属性で「学校教育の充実」が最も多くなっています。

性別にみると、男女とも上位2位は全体の回答傾向と同様ですが、このほか、男性は「スポーツ・文化活動への支援」が第3位で、女性を5.6ポイント上回っています。

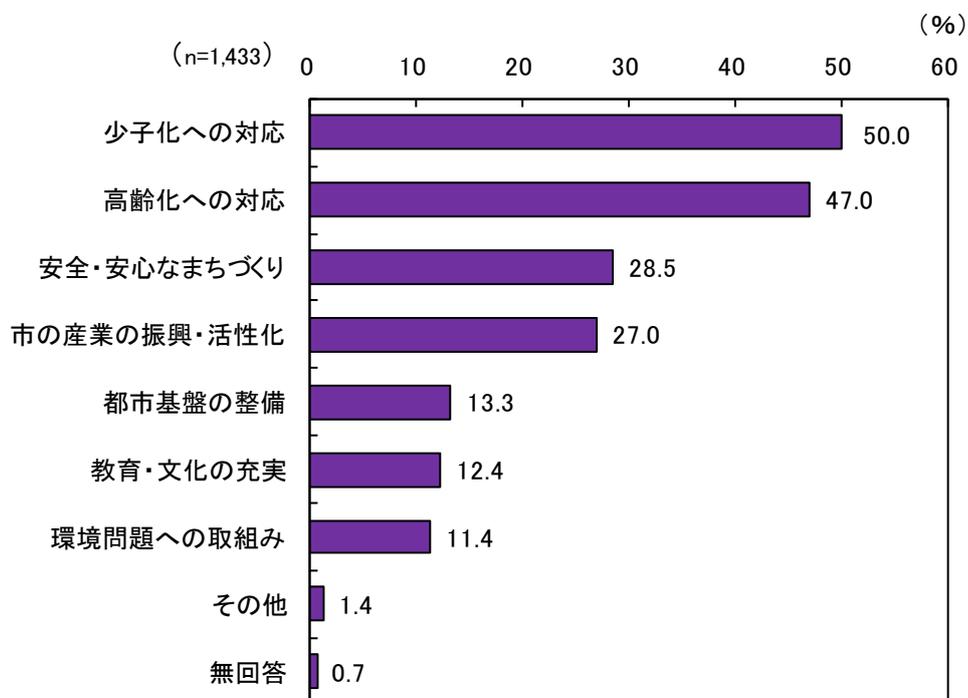
年齢別にみると、18歳～50歳代では「スポーツ・文化活動への支援」、また、18～29歳及び30歳代では「幼児期の教育の充実」が上位に入っています。

居住地域別にみると、上位は全体の回答傾向と同様であり、大きな違いはありません。

(8) 未来のまちづくり

問13. あなたは、未来のまちづくりに向け、特にどのようなことが重要だと思いますか。
(○印は2つまで)

<全体>



◆少子・高齢化対策が特に重要

未来のまちづくりに向けて特に重要なこととしては、「少子化への対応」が 50.0%、「高齢化への対応」が 47.0%と多くなっています。このほか、「安全・安心なまちづくり」が 28.5%、「市の産業の振興・活性化」が 27.0%で続きます。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目		全体	少子化への対応	高齢化への対応	安全・安心なまちづくり	市の産業の振興・活性化	環境問題への取組み	都市基盤の整備	教育・文化の充実	その他	無回答
属性											
全体		1,433 100.0	717 50.0	674 47.0	409 28.5	387 27.0	163 11.4	191 13.3	177 12.4	20 1.4	10 0.7
性別	男性	583 100.0	299 51.3	261 44.8	153 26.2	173 29.7	58 9.9	102 17.5	63 10.8	10 1.7	4 0.7
	女性	780 100.0	383 49.1	381 48.8	241 30.9	192 24.6	97 12.4	79 10.1	106 13.6	8 1.0	5 0.6
年齢	18～29歳	169 100.0	89 52.7	67 39.6	49 29.0	50 29.6	16 9.5	27 16.0	14 8.3	6 3.6	0 0.0
	30～39歳	188 100.0	103 54.8	82 43.6	49 26.1	49 26.1	16 8.5	33 17.6	22 11.7	4 2.1	0 0.0
	40～49歳	215 100.0	103 47.9	108 50.2	53 24.7	58 27.0	23 10.7	34 15.8	34 15.8	2 0.9	0 0.0
	50～59歳	239 100.0	102 42.7	120 50.2	72 30.1	63 26.4	26 10.9	28 11.7	39 16.3	5 2.1	1 0.4
	60～69歳	303 100.0	157 51.8	154 50.8	87 28.7	80 26.4	40 13.2	34 11.2	35 11.6	2 0.7	1 0.3
	70歳以上	301 100.0	152 50.5	137 45.5	94 31.2	84 27.9	41 13.6	33 11.0	31 10.3	0 0.0	7 2.3
	居住地域	東部	256 100.0	120 46.9	122 47.7	80 31.3	63 24.6	30 11.7	38 14.8	24 9.4	4 1.6
西部		236 100.0	98 41.5	115 48.7	77 32.6	65 27.5	22 9.3	32 13.6	32 13.6	6 2.5	2 0.8
南部		481 100.0	264 54.9	233 48.4	130 27.0	118 24.5	52 10.8	65 13.5	62 12.9	5 1.0	4 0.8
北部		260 100.0	140 53.8	115 44.2	69 26.5	77 29.6	37 14.2	27 10.4	30 11.5	3 1.2	3 1.2
中央部		178 100.0	86 48.3	81 45.5	44 24.7	59 33.1	20 11.2	25 14.0	27 15.2	1 0.6	0 0.0

性別にみると、男女とも上位2位は全体の回答傾向と同様ですが、このほか、男性は「市の産業の振興・活性化」が第3位となっています。

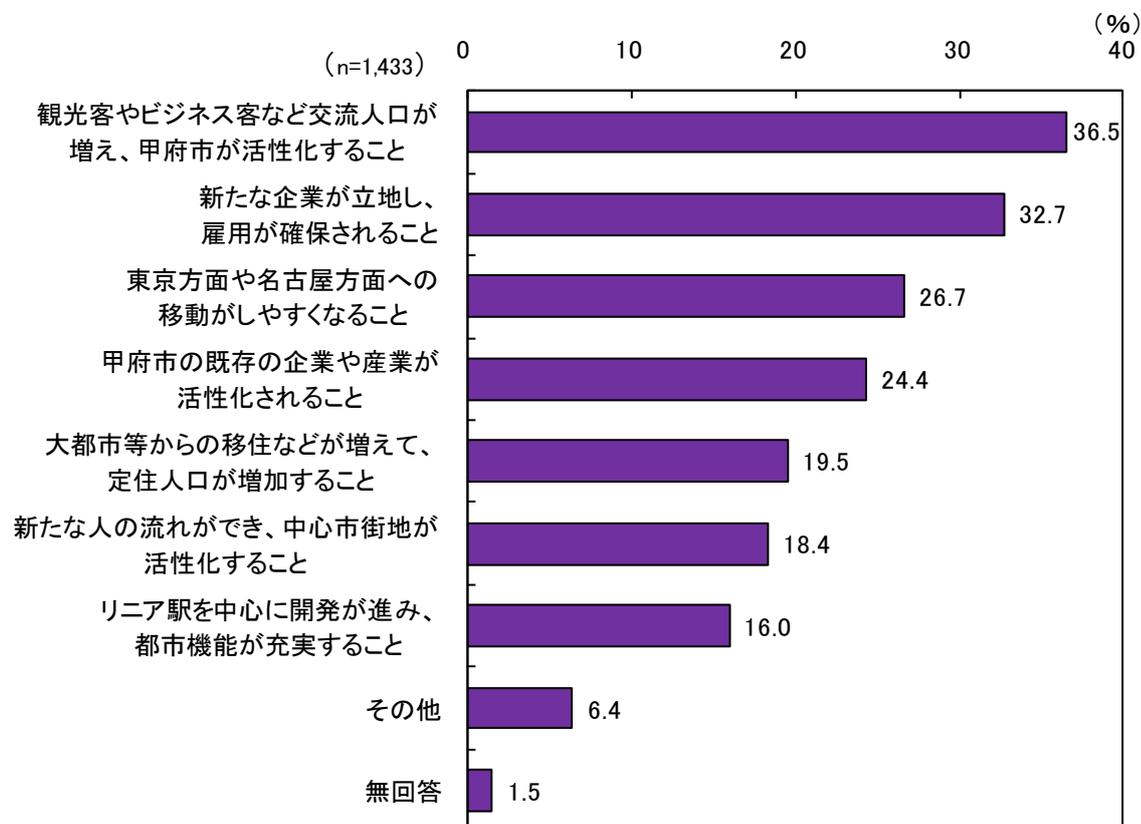
年齢別にみると、40歳代及び50歳代では「高齢化への対応」が最も多くなっています。また、18歳～40歳代では「市の産業の振興・活性化」が上位に入っています。

居住地域別にみると、東部・西部では「高齢化への対応」が最も多くなっています。また、北部・中央部では「市の産業の振興・活性化」が上位に入っています。

(9) リニア中央新幹線の開業への期待

問14. あなたが、リニア中央新幹線の開業に期待することは何ですか。(○印は2つまで)

<全体>



◆交流人口の増加や雇用創出への期待が多い

リニア中央新幹線の開業に期待することとしては、「観光客やビジネス客など交流人口が増え、甲府市が活性化すること」が 36.5%、「新たな企業が立地し、雇用が確保されること」が 32.7% でそれぞれ 30%を超えています。このほか、「東京方面や名古屋方面への移動がしやすくなること」が 26.7%、「甲府市の既存の企業や産業が活性化されること」が 24.4%で続きます。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目 属性	全体	活性化すること	観光客やビジネス客など 交流人口が増え、甲府市が 活性化すること	甲府市の既存の企業や 産業が活性化されること	新たな人の流れができ、 中心市街地が活性化すること	新たな企業が立地し、 雇用が確保されること	増加すること	増えて、定住人口が 増加すること	大都市等からの移住などが 増え、定住人口が 増加すること	リニア駅を中心に開発が進み、 都市機能が充実すること	東京方面や名古屋方面への 移動がしやすくなること	その他	無回答
	全体	1,433 100.0	523 36.5	349 24.4	263 18.4	469 32.7	280 19.5	229 16.0	382 26.7	92 6.4	22 1.5		
性別	男性	583 100.0	202 34.6	123 21.1	103 17.7	192 32.9	122 20.9	116 19.9	161 27.6	46 7.9	4 0.7		
	女性	780 100.0	301 38.6	210 26.9	145 18.6	256 32.8	141 18.1	104 13.3	208 26.7	38 4.9	16 2.1		
年齢	18～ 29歳	169 100.0	73 43.2	30 17.8	34 20.1	41 24.3	15 8.9	44 26.0	62 36.7	7 4.1	0 0.0		
	30～ 39歳	188 100.0	62 33.0	40 21.3	44 23.4	45 23.9	22 11.7	38 20.2	78 41.5	8 4.3	0 0.0		
	40～ 49歳	215 100.0	69 32.1	64 29.8	37 17.2	71 33.0	42 19.5	35 16.3	65 30.2	13 6.0	1 0.5		
	50～ 59歳	239 100.0	79 33.1	49 20.5	38 15.9	85 35.6	39 16.3	40 16.7	64 26.8	25 10.5	4 1.7		
	60～ 69歳	303 100.0	125 41.3	66 21.8	51 16.8	117 38.6	67 22.1	42 13.9	66 21.8	21 6.9	4 1.3		
	70歳 以上	301 100.0	108 35.9	95 31.6	57 18.9	106 35.2	91 30.2	28 9.3	42 14.0	17 5.6	13 4.3		
	居住地域	東部	256 100.0	96 37.5	67 26.2	48 18.8	98 38.3	45 17.6	36 14.1	68 26.6	12 4.7	1 0.4	
西部		236 100.0	95 40.3	64 27.1	32 13.6	76 32.2	36 15.3	35 14.8	73 30.9	15 6.4	3 1.3		
南部		481 100.0	167 34.7	117 24.3	76 15.8	176 36.6	97 20.2	89 18.5	120 24.9	29 6.0	7 1.5		
北部		260 100.0	89 34.2	53 20.4	59 22.7	72 27.7	54 20.8	46 17.7	64 24.6	21 8.1	9 3.5		
中央部		178 100.0	68 38.2	43 24.2	42 23.6	43 24.2	43 24.2	20 11.2	51 28.7	14 7.9	2 1.1		

性別にみると、男女とも上位2位は全体の回答傾向と同様ですが、女性は「甲府市の既存の企業や産業が活性化されること」が第3位となっています。

年齢別にみると、18～29歳・60歳代・70歳以上は「観光客やビジネス客など交流人口が増え、甲府市が活性化すること」、30歳代は「東京方面や名古屋方面への移動がしやすくなること」、40歳代及び50歳代は「新たな企業が立地し、雇用が確保されること」がそれぞれ最も多くなっています。このほか、年齢が高いほど「大都市等からの移住などが増えて、定住人口が増加すること」が多くなり、年齢が低いほど「リニア駅を中心に開発が進み、都市機能が充実すること」と「東京方面や名古屋方面への移動がしやすくなること」が多くなる傾向がみられます。

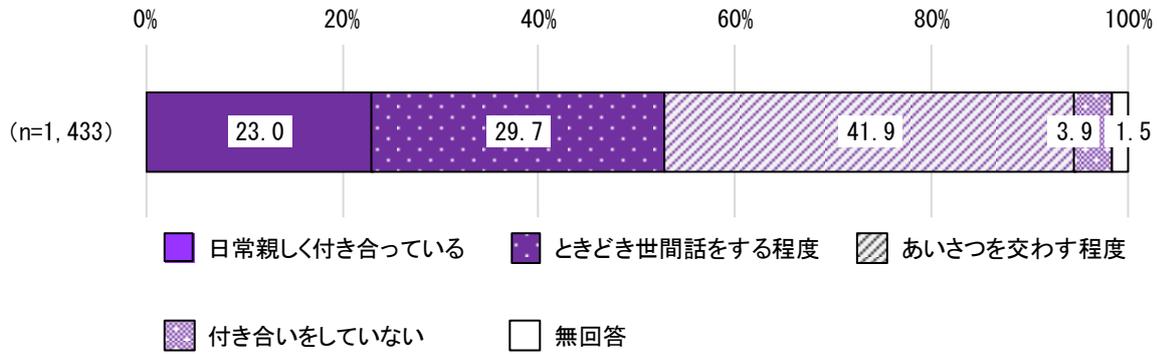
居住地域別にみると、西部・北部・中央部では「観光客やビジネス客など交流人口が増え、甲府市が活性化すること」、東部・南部では「新たな企業が立地し、雇用が確保されること」がそれぞれ最も多くなっています。

5. まちづくりへの参加について

(1) 近所付き合い

問15. あなたは、日頃、隣近所の方との程度のお付き合いをしていますか。(○印は1つ)

<全体>



◆あいさつを交わす程度の近所付き合いが多い

隣近所の方との付き合いの程度としては、「あいさつを交わす程度」が41.9%で最も多くなっています。次いで、「ときどき世間話をする程度」が29.7%、「日常親しく付き合っている」が23.0%となっており、「付き合いをしていない」は3.9%にとどまっています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目		全体	日常親しく 付き合っている	ときどき世間話 をする程度	あいさつを 交わす程度	付き合いを していない	無回答
属性							
全体		1,433 100.0	330 23.0	426 29.7	600 41.9	56 3.9	21 1.5
性別	男性	583 100.0	138 23.7	147 25.2	266 45.6	22 3.8	10 1.7
	女性	780 100.0	177 22.7	255 32.7	305 39.1	33 4.2	10 1.3
年齢	18～ 29歳	169 100.0	9 5.3	29 17.2	112 66.3	16 9.5	3 1.8
	30～ 39歳	188 100.0	19 10.1	50 26.6	102 54.3	16 8.5	1 0.5
	40～ 49歳	215 100.0	20 9.3	81 37.7	105 48.8	9 4.2	0 0.0
	50～ 59歳	239 100.0	40 16.7	89 37.2	100 41.8	8 3.3	2 0.8
	60～ 69歳	303 100.0	101 33.3	84 27.7	107 35.3	5 1.7	6 2.0
	70歳 以上	301 100.0	136 45.2	89 29.6	65 21.6	2 0.7	9 3.0
	居住地域	東部	256 100.0	65 25.4	73 28.5	111 43.4	6 2.3
西部		236 100.0	52 22.0	84 35.6	89 37.7	9 3.8	2 0.8
南部		481 100.0	111 23.1	141 29.3	204 42.4	19 4.0	6 1.2
北部		260 100.0	67 25.8	78 30.0	98 37.7	10 3.8	7 2.7
中央部		178 100.0	29 16.3	47 26.4	87 48.9	11 6.2	4 2.2

性別にみると、男女とも全体の回答傾向と同様ですが、男性は「あいさつを交わす程度」が女性を6.5ポイント上回り、一方「ときどき世間話をする程度」が7.5ポイント下回っています。

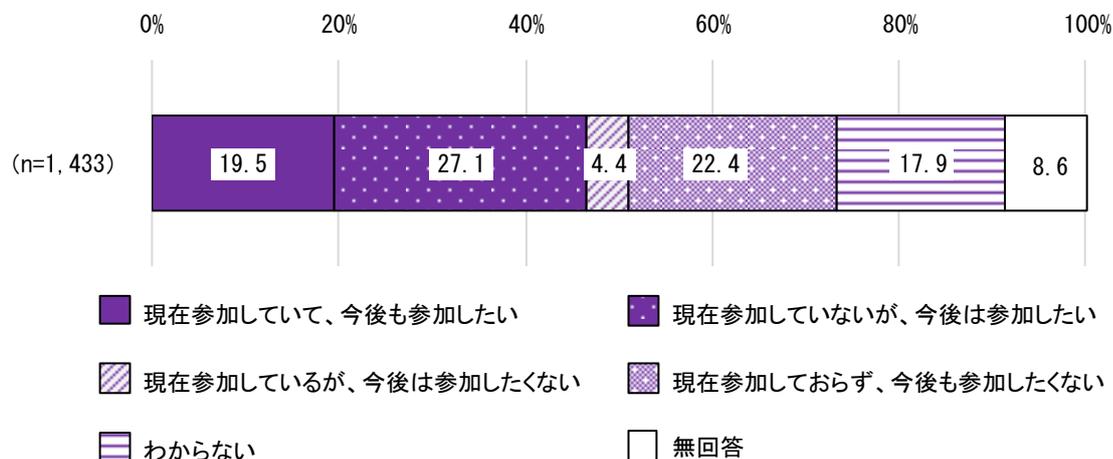
年齢別にみると、70歳以上のみ「日常親しく付き合っている」が最も多くなっています。また、年齢が低いほど「あいさつを交わす程度」や「付き合いをしていない」が多い傾向がみられ、18～29歳では「付き合いをしていない」が上位に入っています。

居住地域別にみると、全体の回答傾向と同様ですが、西部では「ときどき世間話をする程度」、中央部では「あいさつを交わす程度」が他の地域と比べて多くなっています。

(2) 市政やまちづくりの活動への参加

問16. あなたは、市政やまちづくりの活動への参加についてどう思いますか。(○印は1つ)

<全体>



◆市政やまちづくりの活動への参加意向は約半数

市政やまちづくりの活動への参加としては、「現在参加していないが、今後は参加したい」が27.1%で最も多く、「現在参加していて、今後も参加したい」(19.5%)と合計した、今後市政やまちづくりの活動への参加意向がある層は46.6%となっています。一方、「現在参加しておらず、今後も参加したくない」が22.4%で、「現在参加しているが、今後は参加したくない」(4.4%)と合計した、今後市政やまちづくりの活動への参加意向がない層は26.8%となっています。このほか、「わからない」が17.9%となっています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目		全体	今後も参加したい	現在参加していて、今後参加したい	現在参加していないが、今後参加したい	現在参加しているが、今後参加したくない	現在参加しておらず、今後参加したくない	わからない	無回答
属性									
全体		1,433 100.0	280 19.5	389 27.1	63 4.4	321 22.4	257 17.9	123 8.6	
性別	男性	583 100.0	118 20.2	163 28.0	28 4.8	135 23.2	88 15.1	51 8.7	
	女性	780 100.0	150 19.2	212 27.2	28 3.6	168 21.5	157 20.1	65 8.3	
年齢	18～29歳	169 100.0	9 5.3	62 36.7	1 0.6	52 30.8	41 24.3	4 2.4	
	30～39歳	188 100.0	21 11.2	53 28.2	4 2.1	59 31.4	41 21.8	10 5.3	
	40～49歳	215 100.0	31 14.4	61 28.4	16 7.4	51 23.7	41 19.1	15 7.0	
	50～59歳	239 100.0	39 16.3	67 28.0	10 4.2	58 24.3	49 20.5	16 6.7	
	60～69歳	303 100.0	79 26.1	85 28.1	12 4.0	46 15.2	42 13.9	39 12.9	
	70歳以上	301 100.0	96 31.9	56 18.6	19 6.3	52 17.3	41 13.6	37 12.3	
	居住地	東部	256 100.0	52 20.3	73 28.5	18 7.0	49 19.1	45 17.6	19 7.4
	西部	236 100.0	40 16.9	58 24.6	10 4.2	57 24.2	50 21.2	21 8.9	
	南部	481 100.0	87 18.1	136 28.3	23 4.8	115 23.9	82 17.0	38 7.9	
	北部	260 100.0	62 23.8	66 25.4	8 3.1	58 22.3	41 15.8	25 9.6	
	中央部	178 100.0	34 19.1	49 27.5	4 2.2	39 21.9	35 19.7	17 9.6	

性別にみると、全体の回答傾向と大きな違いはありません。

年齢別にみると、30歳代をはじめ若い年齢層で「現在参加しておらず、今後参加したくない」が比較的多い傾向にあります。全体的には今後市政やまちづくりの活動への参加意向がある層が多くなっています。特に、70歳以上では「現在参加していて、今後参加したい」が最も多くなっています。

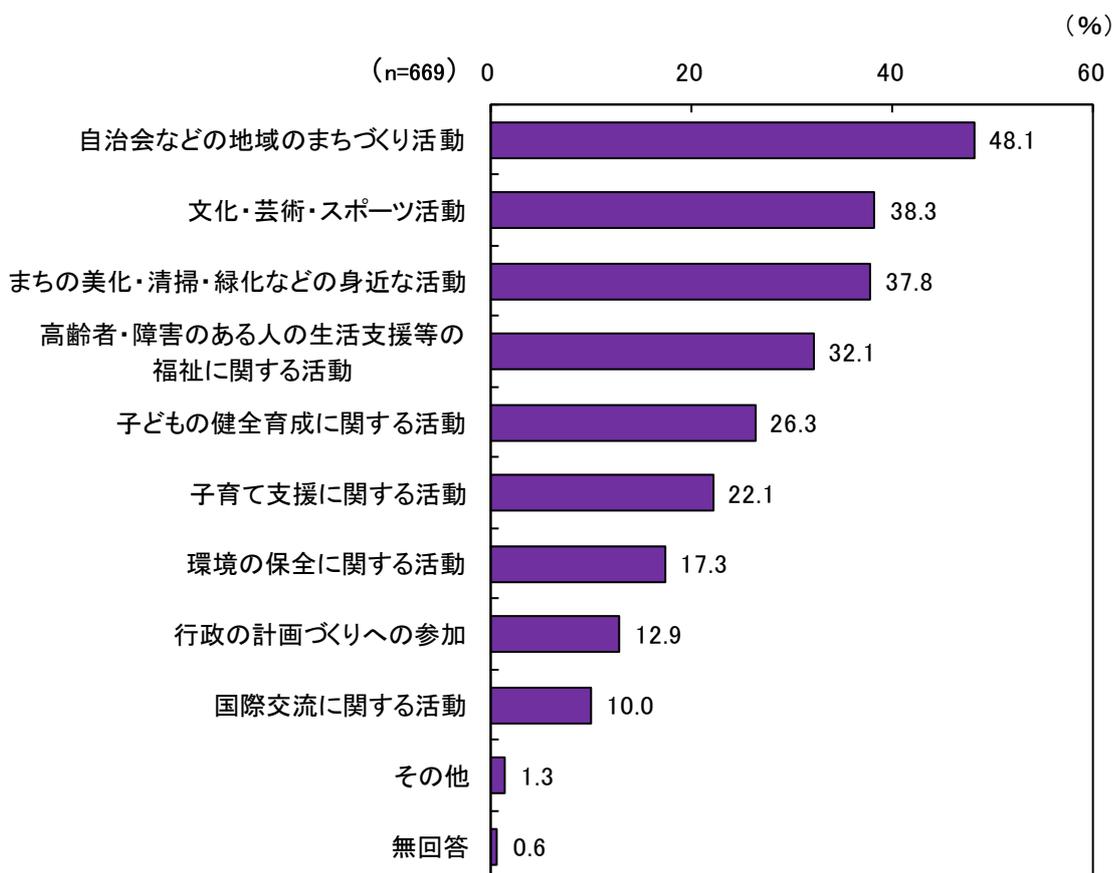
居住地域別にみると、全体の回答傾向と大きな違いはありません。

(2-1) 参加したい活動

【問16で「現在参加していて、今後も参加したい」または「現在参加していないが、今後は参加したい」と回答した方のみ】

問16-1. どのような活動に参加したいと思いますか。 (〇印はあてはまるものすべて)

<全体>



◆今後参加したいのは、自治会などの地域のまちづくり活動が最も多い

参加したい活動としては、「自治会などの地域のまちづくり活動」が 48.1%で最も多く、「文化・芸術・スポーツ活動」が 38.3%、「まちの美化・清掃・緑化などの身近な活動」が 37.8%、「高齢者・障害のある人の生活支援等の福祉に関する活動」が 32.1%で続きます。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目		全体	行政の計画づくりへの参加	自治会などの地域のまちづくり活動	まちな美化・清掃・緑化などの身近な活動	子育て支援に関する活動	子どもの健全育成に関する活動	高齢者・障害のある人の生活支援等の福祉に関する活動	文化・芸術・スポーツ活動	環境の保全に関する活動	国際交流に関する活動	その他	無回答
属性													
全体		669 100.0	86 12.9	322 48.1	253 37.8	148 22.1	176 26.3	215 32.1	256 38.3	116 17.3	67 10.0	9 1.3	4 0.6
性別	男性	281 100.0	56 19.9	155 55.2	109 38.8	38 13.5	70 24.9	76 27.0	99 35.2	60 21.4	28 10.0	3 1.1	3 1.1
	女性	362 100.0	29 8.0	154 42.5	135 37.3	102 28.2	98 27.1	129 35.6	145 40.1	50 13.8	37 10.2	6 1.7	1 0.3
年齢	18～29歳	71 100.0	12 16.9	22 31.0	29 40.8	16 22.5	13 18.3	17 23.9	33 46.5	7 9.9	10 14.1	2 2.8	0 0.0
	30～39歳	74 100.0	7 9.5	15 20.3	23 31.1	35 47.3	26 35.1	16 21.6	33 44.6	5 6.8	11 14.9	0 0.0	0 0.0
	40～49歳	92 100.0	10 10.9	48 52.2	27 29.3	30 32.6	33 35.9	20 21.7	37 40.2	16 17.4	9 9.8	0 0.0	0 0.0
	50～59歳	106 100.0	18 17.0	56 52.8	35 33.0	16 15.1	27 25.5	33 31.1	51 48.1	20 18.9	15 14.2	2 1.9	1 0.9
	60～69歳	164 100.0	15 9.1	86 52.4	65 39.6	30 18.3	45 27.4	63 38.4	48 29.3	36 22.0	15 9.1	1 0.6	2 1.2
	70歳以上	152 100.0	23 15.1	91 59.9	70 46.1	17 11.2	28 18.4	64 42.1	50 32.9	30 19.7	6 3.9	4 2.6	0 0.0
	居住地域	東部	125 100.0	12 9.6	64 51.2	44 35.2	32 25.6	30 24.0	39 31.2	42 33.6	18 14.4	9 7.2	0 0.0
	西部	98 100.0	17 17.3	47 48.0	36 36.7	15 15.3	19 19.4	38 38.8	38 38.8	19 19.4	13 13.3	0 0.0	1 1.0
	南部	223 100.0	25 11.2	107 48.0	82 36.8	52 23.3	58 26.0	62 27.8	93 41.7	36 16.1	22 9.9	2 0.9	2 0.9
	北部	128 100.0	14 10.9	60 46.9	55 43.0	35 27.3	40 31.3	37 28.9	43 33.6	26 20.3	10 7.8	5 3.9	0 0.0
	中央部	83 100.0	16 19.3	37 44.6	27 32.5	12 14.5	25 30.1	34 41.0	36 43.4	14 16.9	12 14.5	2 2.4	0 0.0

性別にみると、男女とも上位は全体の回答傾向と同様ですが、男性は「自治会などの地域のまちづくり活動」が女性を12.7ポイント上回っています。また、女性は「子育て支援に関する活動」が男性を14.7ポイント上回っています。

年齢別にみると、40歳代～70歳以上では全体と同様に「自治会などの地域のまちづくり活動」が最も多くなっている一方、18～29歳では「文化・芸術・スポーツ活動」、30歳代では「子育て支援に関する活動」が最も多くなっています。また、30歳代及び40歳代では「子どもの健全育成に関する活動」、60歳代及び70歳以上では「高齢者・障害のある人の生活支援等の福祉に関する活動」も上位に入っています。

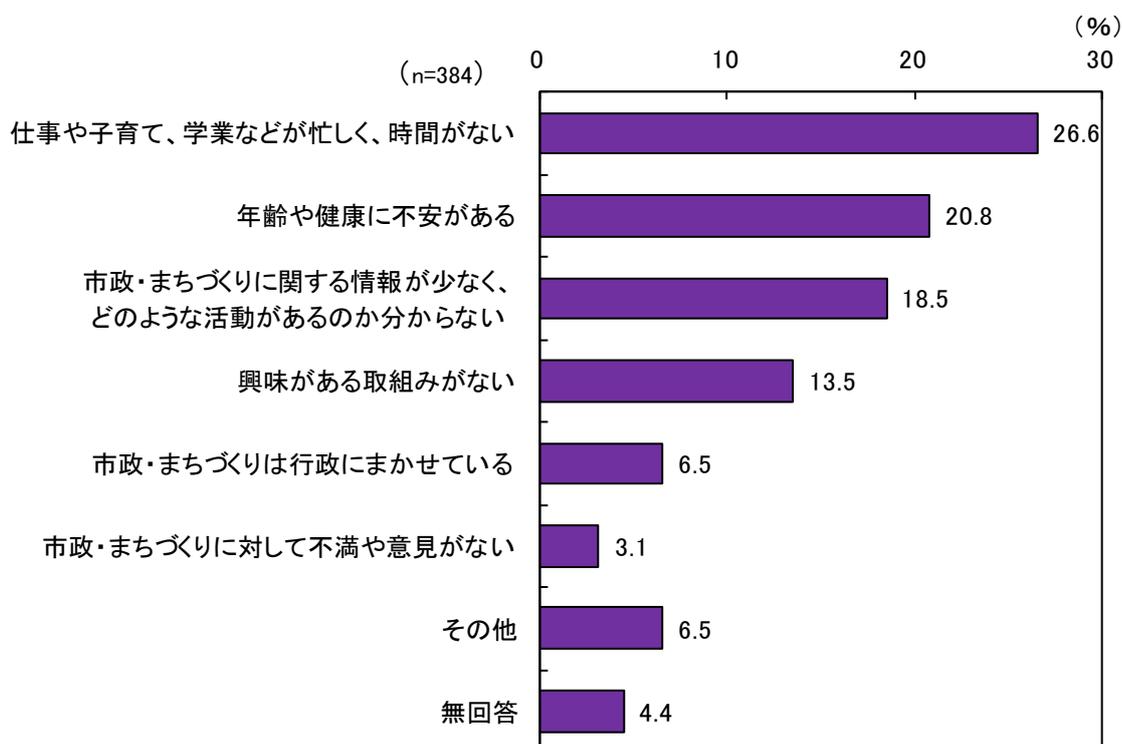
居住地域別にみると、西部・中央部では「高齢者・障害のある人の生活支援等の福祉に関する活動」が上位に入っています。

(2-2) 参加したくない理由

【問16で「現在参加しているが、今後は参加したくない」または「現在参加しておらず、今後も参加したくない」と回答した方のみ】

問16-2. 市政やまちづくりに参加したくない理由は何ですか。(○印は1つ)

<全体>



◆参加したくない理由は仕事などの多忙さが最も多い

市政やまちづくりに参加したくない理由としては、「仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がない」が26.6%で最も多く、「年齢や健康に不安がある」が20.8%、「市政・まちづくりに関する情報が少なく、どのような活動があるのか分からない」が18.5%で続きます。このほか、「興味がある取組みがない」が13.5%となっています。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目		全体	市政・まちづくりに関する情報が少なく、どのような活動があるのか分からない	興味がある取組みがない	市政・まちづくりは行政にまかせている	市政・まちづくりに対して不満や意見がない	仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がない	年齢や健康に不安がある	その他	無回答
属性										
全体		384 100.0	71 18.5	52 13.5	25 6.5	12 3.1	102 26.6	80 20.8	25 6.5	17 4.4
性別	男性	163 100.0	33 20.2	24 14.7	15 9.2	7 4.3	46 28.2	24 14.7	9 5.5	5 3.1
	女性	196 100.0	37 18.9	26 13.3	9 4.6	4 2.0	48 24.5	47 24.0	14 7.1	11 5.6
年齢	18～29歳	53 100.0	14 26.4	9 17.0	2 3.8	4 7.5	22 41.5	0 0.0	1 1.9	1 1.9
	30～39歳	63 100.0	21 33.3	10 15.9	6 9.5	1 1.6	20 31.7	1 1.6	2 3.2	2 3.2
	40～49歳	67 100.0	13 19.4	6 9.0	0 0.0	0 0.0	36 53.7	3 4.5	6 9.0	3 4.5
	50～59歳	68 100.0	11 16.2	12 17.6	9 13.2	2 2.9	15 22.1	5 7.4	8 11.8	6 8.8
	60～69歳	58 100.0	7 12.1	10 17.2	6 10.3	2 3.4	4 6.9	23 39.7	4 6.9	2 3.4
	70歳以上	71 100.0	5 7.0	5 7.0	2 2.8	3 4.2	4 5.6	46 64.8	3 4.2	3 4.2
	居住地域	東部	67 100.0	20 29.9	4 6.0	2 3.0	0 0.0	17 25.4	18 26.9	4 6.0
	西部	67 100.0	12 17.9	10 14.9	1 1.5	1 1.5	16 23.9	16 23.9	8 11.9	3 4.5
	南部	138 100.0	26 18.8	24 17.4	10 7.2	5 3.6	31 22.5	25 18.1	9 6.5	8 5.8
	北部	66 100.0	9 13.6	8 12.1	9 13.6	3 4.5	19 28.8	15 22.7	1 1.5	2 3.0
	中央部	43 100.0	4 9.3	6 14.0	3 7.0	3 7.0	18 41.9	5 11.6	2 4.7	2 4.7

性別にみると、上位は全体の回答傾向と同様であり、大きな違いはありません。

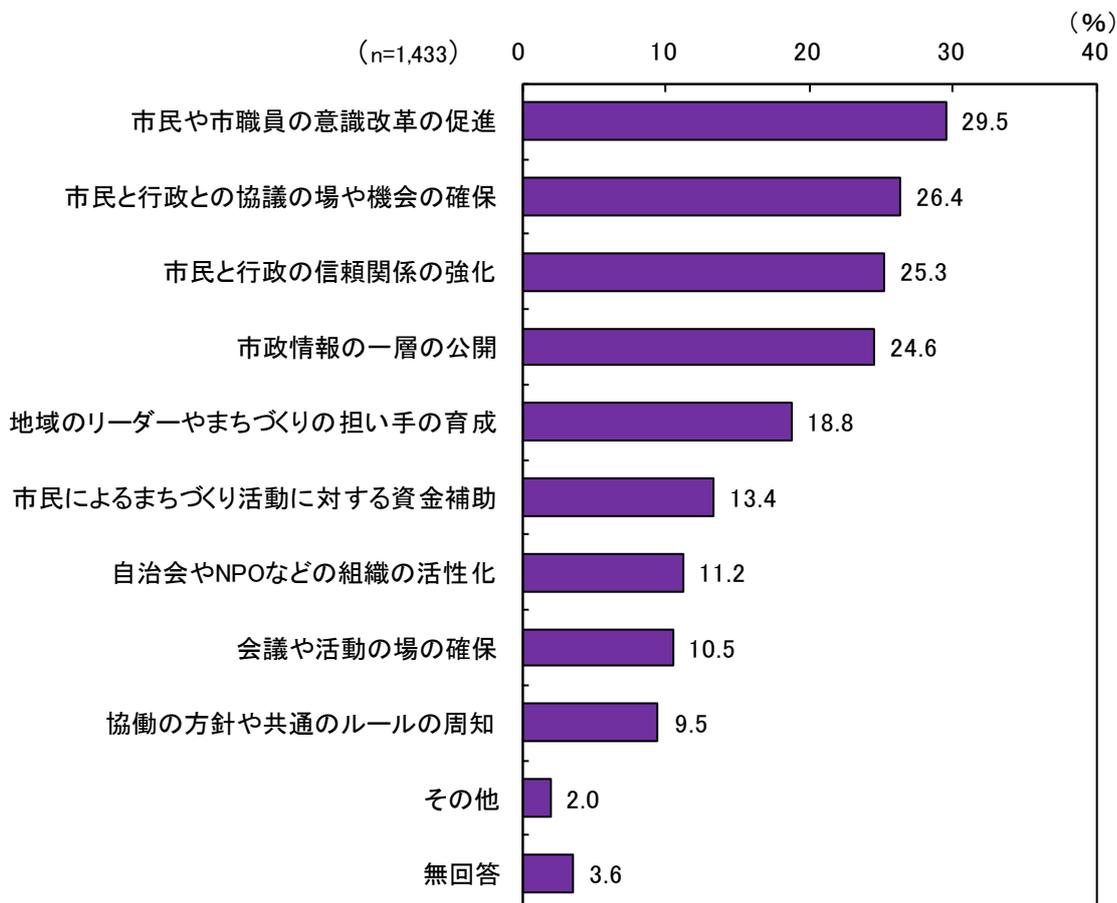
年齢別にみると、30歳代では「市政・まちづくりに関する情報が少なく、どのような活動があるのか分からない」が、60歳代及び70歳以上では「年齢や健康に不安がある」が最も多くなっています。

居住地域別にみると、東部では「市政・まちづくりに関する情報が少なく、どのような活動があるのか分からない」が最も多くなっています。また、中央部では「仕事や子育て、学業などが忙しく、時間がない」が41.9%で、他の地域と比べて多くなっているほか、「興味がある取組みがない」が上位に入っています。

(3) 市民と行政による協働のまちづくり

問17. まちづくり活動に参加しやすくし、より一層、市民と行政による協働のまちづくりを進めていくためには、今後行政においてどのような取組みが必要だと思いますか。
(○印は2つまで)

<全体>



◆市民や市職員の意識改革の促進が最も多い

市民と行政による協働のまちづくりを進めていくために、今後行政に必要な取組みとしては、「市民や市職員の意識改革の促進」が29.5%で最も多く、「市民と行政との協議の場や機会の確保」が26.4%、「市民と行政の信頼関係の強化」が25.3%、「市政情報の一層の公開」が24.6%で続きます。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目		全体	市政情報の一層の公開	市民と行政との協議の場や機会の確保	会議や活動の場の確保	協働の方針や共通のルールの周知	市民や市職員の意識改革の促進	地域のリーダーやまちづくりの担い手の育成	自治会やNPOなどの組織の活性化	市民によるまちづくり活動に対する資金補助	市民と行政の信頼関係の強化	その他	無回答
属性													
全体		1,433 100.0	352 24.6	378 26.4	151 10.5	136 9.5	423 29.5	269 18.8	161 11.2	192 13.4	362 25.3	28 2.0	51 3.6
性別	男性	583 100.0	139 23.8	170 29.2	48 8.2	58 9.9	195 33.4	102 17.5	62 10.6	87 14.9	138 23.7	17 2.9	16 2.7
	女性	780 100.0	189 24.2	193 24.7	98 12.6	74 9.5	203 26.0	148 19.0	95 12.2	98 12.6	205 26.3	11 1.4	32 4.1
年齢	18～29歳	169 100.0	42 24.9	42 24.9	16 9.5	25 14.8	42 24.9	24 14.2	17 10.1	29 17.2	46 27.2	3 1.8	2 1.2
	30～39歳	188 100.0	52 27.7	50 26.6	21 11.2	27 14.4	46 24.5	36 19.1	21 11.2	24 12.8	37 19.7	5 2.7	2 1.1
	40～49歳	215 100.0	54 25.1	63 29.3	26 12.1	20 9.3	59 27.4	40 18.6	27 12.6	32 14.9	51 23.7	5 2.3	2 0.9
	50～59歳	239 100.0	54 22.6	60 25.1	18 7.5	21 8.8	77 32.2	49 20.5	21 8.8	36 15.1	60 25.1	8 3.3	7 2.9
	60～69歳	303 100.0	72 23.8	93 30.7	29 9.6	23 7.6	116 38.3	53 17.5	36 11.9	29 9.6	76 25.1	5 1.7	13 4.3
	70歳以上	301 100.0	72 23.9	64 21.3	41 13.6	19 6.3	80 26.6	62 20.6	37 12.3	40 13.3	86 28.6	2 0.7	24 8.0
	居住地	東部	256 100.0	66 25.8	72 28.1	33 12.9	29 11.3	64 25.0	50 19.5	33 12.9	30 11.7	56 21.9	3 1.2
	西部	236 100.0	58 24.6	67 28.4	27 11.4	21 8.9	68 28.8	42 17.8	28 11.9	31 13.1	54 22.9	4 1.7	8 3.4
	南部	481 100.0	126 26.2	112 23.3	46 9.6	49 10.2	160 33.3	86 17.9	53 11.0	66 13.7	123 25.6	12 2.5	12 2.5
	北部	260 100.0	63 24.2	64 24.6	24 9.2	24 9.2	66 25.4	55 21.2	23 8.8	42 16.2	71 27.3	7 2.7	13 5.0
	中央部	178 100.0	35 19.7	56 31.5	19 10.7	10 5.6	63 35.4	29 16.3	22 12.4	21 11.8	48 27.0	2 1.1	6 3.4

性別にみると、男性は、全体と同様に「市民や市職員の意識改革の促進」が最も多く、女性を7.4ポイント上回っています。一方、女性は、「市民と行政の信頼関係の強化」が最も多くなっています。

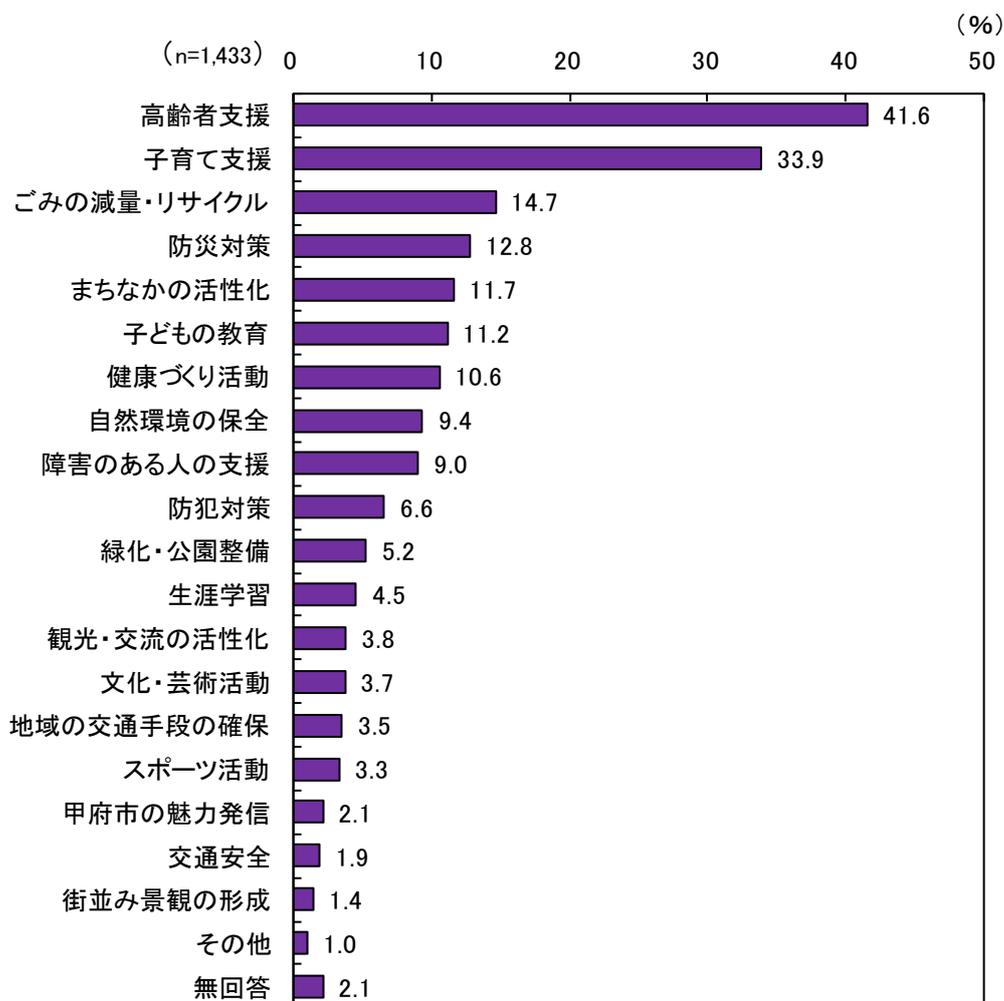
年齢別にみると、18～29歳及び70歳以上では「市民と行政の信頼関係の強化」、30歳代では「市政情報の一層の公開」、40歳代では「市民と行政との協議の場や機会の確保」が最も多くなっています。

居住地別にみると、東部では「市民と行政との協議の場や機会の確保」、北部では「市民と行政の信頼関係の強化」が最も多くなっています。

(4) 市民と行政が協働で取り組む分野

問18. あなたは、市民と行政が協働で取り組むことが必要な分野、あるいは取り組めば有効であると考えられる分野は、何だと思いませんか。(〇印は3つまで)

<全体>



◆協働で取り組む分野は、高齢者支援や子育て支援が多い

市民と行政が協働で取り組むことが必要な分野、あるいは取り組めば有効であると考えられる分野としては、「高齢者支援」が41.6%で最も多く、次いで「子育て支援」が33.9%となっています。このほか、「ごみの減量・リサイクル」が14.7%、「防災対策」が12.8%、「まちなかの活性化」が11.7%、「子どもの教育」が11.2%で続きます。

<属性別> ※網掛けは濃～淡の順に各属性での上位3位を表す

項目 属性	全体	子育て支援	高齢者支援	障害のある人の支援	健康づくり活動	子どもの教育	生涯学習	スポーツ活動	文化・芸術活動	自然環境の保全	緑化・公園整備	ごみの減量・リサイクル	防災対策	防犯対策	交通安全	まちなかの活性化	観光・交流の活性化	地域の交通手段の確保	街並み景観の形成	甲府市の魅力発信	その他	無回答	
	全体	1,433 100.0	486 33.9	596 41.6	129 9.0	152 10.6	160 11.2	65 4.5	47 3.3	53 3.7	134 9.4	75 5.2	210 14.7	184 12.8	94 6.6	27 1.9	167 11.7	54 3.8	50 3.5	20 1.4	30 2.1	14 1.0	30 2.1
性別	男性	583 100.0	178 30.5	221 37.9	48 8.2	52 8.9	64 11.0	26 4.5	32 5.5	18 3.1	65 11.1	32 5.5	78 13.4	84 14.4	44 7.5	16 2.7	67 11.5	34 5.8	25 4.3	11 1.9	9 1.5	9 1.5	14 2.4
	女性	780 100.0	287 36.8	343 44.0	73 9.4	90 11.5	90 11.5	35 4.5	13 1.7	31 4.0	61 7.8	39 5.0	122 15.6	96 12.3	46 5.9	10 1.3	94 12.1	18 2.3	21 2.7	7 0.9	19 2.4	4 0.5	15 1.9
年齢	18～29歳	169 100.0	75 44.4	49 29.0	15 8.9	10 5.9	21 12.4	6 3.6	10 5.9	7 4.1	12 7.1	15 8.9	18 10.7	21 12.4	13 7.7	5 3.0	27 16.0	12 7.1	4 2.4	6 3.6	4 2.4	1 0.6	0 0.0
	30～39歳	188 100.0	96 51.1	64 34.0	21 11.2	6 3.2	29 15.4	2 1.1	2 1.2	7 3.7	15 8.0	9 4.8	27 14.4	21 11.2	12 6.4	1 0.5	27 14.4	9 4.8	7 3.7	2 1.1	6 3.2	2 1.1	2 1.1
	40～49歳	215 100.0	78 36.3	90 41.9	21 9.8	16 7.4	40 18.6	7 3.3	12 5.6	8 3.7	11 5.1	16 7.4	20 9.3	27 12.6	24 11.2	5 2.3	16 7.4	10 4.7	8 3.7	2 0.9	4 1.9	1 0.5	1 0.5
	50～59歳	239 100.0	68 28.5	110 46.0	23 9.6	18 7.5	20 8.4	7 2.9	10 4.2	11 4.6	20 8.4	7 2.9	39 16.3	43 18.0	14 5.9	5 2.1	23 9.6	11 4.6	10 4.2	4 1.7	7 2.9	6 2.5	5 2.1
	60～69歳	303 100.0	101 33.3	138 45.5	24 7.9	46 15.2	24 7.9	23 7.6	7 2.3	7 2.3	37 12.2	9 3.0	51 16.8	34 11.2	20 6.6	4 1.3	34 11.2	4 1.3	10 3.3	2 0.7	4 1.3	1 0.3	9 3.0
	70歳以上	301 100.0	59 19.6	137 45.5	23 7.6	55 18.3	25 8.3	19 6.3	6 2.0	13 4.3	36 12.0	18 6.0	54 17.9	37 12.3	9 3.0	7 2.3	39 13.0	7 2.3	10 3.3	4 1.3	5 1.7	3 1.0	12 4.0
	居住地域	東部	256 100.0	84 32.8	99 38.7	17 6.6	20 7.8	36 14.1	17 6.6	13 5.1	13 5.1	24 9.4	17 6.6	34 13.3	37 14.5	21 8.2	5 2.0	29 11.3	9 3.5	9 3.5	2 0.8	5 2.0	0 0.0
西部		236 100.0	82 34.7	101 42.8	26 11.0	25 10.6	25 10.6	8 3.4	1 0.4	4 1.7	27 11.4	10 4.2	35 14.8	30 12.7	19 8.1	9 3.8	27 11.4	8 3.4	3 1.3	4 1.7	4 2.1	5 2.1	4 1.7
南部		481 100.0	168 34.9	206 42.8	42 8.7	60 12.5	52 10.8	25 5.2	14 2.9	16 3.3	39 8.1	17 3.5	82 17.0	52 10.8	26 5.4	8 1.7	55 11.4	16 3.3	21 4.4	6 1.2	10 2.1	5 1.0	9 1.9
北部		260 100.0	82 31.5	102 39.2	29 11.2	29 11.2	30 11.5	8 3.1	12 4.6	11 4.2	25 9.6	15 5.8	42 16.2	36 13.8	20 7.7	1 0.4	25 9.6	9 3.5	11 4.2	2 0.8	6 2.3	3 1.2	8 3.1
中央部		178 100.0	61 34.3	77 43.3	12 6.7	16 9.0	16 9.0	7 3.9	6 3.4	9 5.1	17 9.6	14 7.9	15 8.4	27 15.2	8 4.5	3 1.7	29 16.3	10 5.6	4 2.2	6 3.4	4 2.2	1 0.6	5 2.8

性別にみると、男女とも上位2位は全体の回答傾向と同様ですが、男性では「防災対策」が第3位となっています。女性は「子育て支援」が6.3ポイント、「高齢者支援」が6.1ポイントそれぞれ男性を上回っています。

年齢別にみると、18～29歳及び30歳代では「子育て支援」が、その他の年齢では「高齢者支援」が最も多くなっています。また、18～29歳では「まちなかの活性化」、30歳代及び40歳代では「子どもの教育」、50歳代では「防災対策」、60歳代では「ごみの減量・リサイクル」、70歳以上では「健康づくり活動」がそれぞれ第3位となっています。

居住地域別にみると、上位2位は全体の回答傾向と同様ですが、東部では「防災対策」、西部・南部・北部では「ごみの減量・リサイクル」、中央部では「まちなかの活性化」がそれぞれ第3位となっています。

6. 甲府市のまちづくりへの提案

甲府市の未来のまちづくりについて、ご意見やご提案をご自由にお書き下さい。

市民アンケートの回答者 1,433 人のうち、507 人（35.4%）から、延べ 677 件のご意見をいただきました。

ご意見は、8 項目に分類し、1 人の意見が複数の項目にわたる場合は、複数の意見として数えています。以下の意見概要については、比較的多かった内容を抽出して、個人情報などを除くとともに、より分かりやすくなるようご意見の趣旨が変わらない程度に要約しています。

《主な意見》

1. まちづくり全般について（66 件）

- ・未来に山梨県民だと胸を張って言える、そんなまちになってほしい。
- ・中長期の目標として、ひとつの分野に特化したまちづくりは必要ではないか。（新鮮な空気や水をいかした福祉や観光、大学と連携した教育のまちとするなど。）
- ・地域が高齢化しているので、若者が働ける場や子育てを安心してできる場があることが必要である。
- ・甲府市の人口が年々増加していくためには、若い労働力が市外・県外に流出しないような魅力あるまちづくり、就労支援、子育て支援など、多角的に取り組まなければならない。
- ・子どもたちが未来に夢を持てるような社会をつくっていったらよい。
- ・ターゲットを絞り、具体的なビジョンを持ってまちづくりをしていただきたい。今からの若者たちが住みたいと思うようなまちづくりが重要だ。
- ・人口を増やすことが一番重要だと思う。
- ・定住人口の増加なくして、未来のまちづくりはない。特に若い女性の地域外流出は将来的に人口減少を招くことになるといわれており、県全体として考えなければならない。
- ・老後、安心して住める甲府市になってもらいたい。
- ・若い世代が住み続けてくれるような甲府市になってほしい。

2. 福祉・健康への支援について（86 件）

- ・甲府市は他の市町村に比べ、子育ての面で住みやすいとは思わない。例えば生後 1 ヶ月の検診の自己負担が高い、予防接種などは無料以外の補助金がないなど。
- ・他市と比べて、公立小学校の学童保育にかかる費用が高く、小学 4 年生からの学童保育がないため、母親の働く機会が減ってしまう。病児保育の受け入れも増やしてほしい。
- ・子ども医療費を中学生まで無料にしてほしい。
- ・甲府市は高齢者が住みやすいまちではないと思う。例えばバスの無料化や補助などで、引きこもってしまうお年寄りも減るのではないか。
- ・高齢者は、買い物などに行くのが難しい方がたくさんいるので、バスの充実やタクシーの割引などがあれば気軽に出かけられるのではないか。近所にお店が少ないのも心配である。
- ・高齢化がすすみ、60 才以上の人も皆若く元気なので、そういう人たちの働ける環境をつくっ

てほしい。

- ・障害者に優しいまちづくりのため、バリアフリー化の推進に力を入れてもらいたい。車イスが歩行しやすい生活道路、交差点の段差の解消などを進めてもらいたい。
- ・健康長寿ための活動を行い、参加しやすいよう仕組みをつくってくれるとありがたい。

3. 教育・文化の振興について（35件）

- ・甲府の子どもの学力向上を進めてほしい。教育県というイメージは子育て世代の定住を促し、将来日本の経済・政治において中心となる人物を育てることは県の発展につながる。
- ・小中学生の学力レベルを上げるよう、教育分野に力を入れていただきたい。
- ・教職員の人手が足りていない。特に厳しい状況に置かれている南部の中学校に手厚い指導ができる体制を整えてほしい。家庭、地域の差を埋める取り組みを期待する。
- ・幼小中高大の連携事業を増やしてほしい。地域に大学があるということは大きな強みだと思うので、それを生かしてほしい。
- ・講演会やイベントなど色々な企画があまり周知されていない気がする。
- ・スポーツ活動の充実のために、公園や広場、サッカー場などを増やしてほしい。

4. 生活・自然環境の向上について（89件）

- ・自然が多い山梨のイメージの割には、甲府は市街地に緑や公園がなく、子どもを遊ばせる場所がない。
- ・甲府市は自然などが多いが、公園が非常に少ないので、高齢者と子育て世代の人が触れ合えるように増やしてほしい。
- ・空き家が年々増えており防災・防犯が心配なので、現実を再確認した上で、対策を急いで進めてほしい。
- ・自分で資源ゴミ（有価物）を持って行けるような場所をつくってほしい。
- ・中心部のカラス対策をどうにかしてほしい。
- ・2014年2月の大雪で山梨県全体が陸の孤島となった。この経験を通し、災害対策に対する意識の向上、食糧の備蓄、復旧対策などを行政と市民が早急に検討する必要がある。
- ・災害に強い甲府市に。災害時の高齢者などを支援するには、地域の代表者だけでなく多くの市民が協力して地域防災の向上を図る必要がある。
- ・市内の防災無線が場所によって聞き取りにくいので、今後の災害時に備えて検討をお願いしたい。
- ・街路灯が少ない場所があり、道を歩くには暗いと感じる。防犯の面からも街路灯を増やしてほしい。
- ・東京から甲府へ越してきて、車優先の社会だと感じている。安全に暮らすためには歩行者（子ども、高齢者）にやさしい車社会を目指してもらいたい。

5. 産業の振興について（53件）

- ・中心部の商店街は、夜は早くに閉まってしまい、仕事のあとショッピングはできない。休日も店は閉店していてガラガラ、これでは中心部の発展は望めない。
- ・イオンの開発（増設）を認めてほしい。早急につくって山梨を活性化すれば県外からも人が

来る。

- ・甲府市産の農産物を食べて、農業を応援できるようにしたい。生きる基本である農業を振興し、おいしい作物は伸ばしたり、農産物の地産地消できるような仕組みをお願いしたい。
- ・農業が栄えているが、後継者は育っているのか。自発的に若者を育てなければ、今後ますます高齢層の比率は上がるのではないかな。
- ・観光面でもっと県外に発信し受け入れ体制をつくらなければもったいない。観光地もたくさんあるので、もう少し力を入れてはどうか。
- ・観光情報をもっと発信する。もっとアピールできるところがたくさんあるのに、情報不足で損している部分が多い。
- ・甲府城に天守閣は本当に必要か疑問。観光の拠点になるのか、若い人の意見を聞いているのか。
- ・宝石研磨業など伝統産業について、若い後継者を育てていかないと途絶えてしまう。
- ・特に若者の雇用の安定・促進に力を注いでほしい。
- ・共働きの夫婦が多くなっているから、ぜひ子育てと両立できる企業を増やすための活動も期待する。

6. 都市基盤の整備について (207 件)

- ・駅周辺に出かけようとしても駐車場が不便なため、落ち着きやすいショッピングモールに行ってしまう。電車ならいいが、車だと不便すぎて中心街に行かなくなる。
- ・無料または安価で気軽に利用できる駐車場の設置。(甲府駅前広場、平和通りの地下など)
- ・駅付近に有料の自転車置き場を設置する。東京都内ではよく見かけるが、放置自転車の解消になり、駅前が整理されて交通機能がよくなると期待できる。
- ・甲府駅周辺は少しずつ整備され美しくなりつつあるが、甲州夢小路など、せっかく観光客を集められる場所があるにもかかわらず活かしていない。
- ・高校生をはじめ若者が買い物や遊びに行きたいと思える魅力ある駅前や中心街にしてほしい。
- ・今後ますます高齢者が増加することを考え、区画整理を進め、生活道路を整備し、自家用車に頼らなくても周辺から中心街へ楽に移動できる、例えばトロリーバスなどを走らせてほしい。
- ・中心部に、高齢者が集いやすいサロンのようなものをつくって、気軽に寄り休んだり、相談できる場所などが必要だ。
- ・ココリや銀座通り付近に子どもや高齢者向けの施設を集めて、公園や緑もある散歩や遊びの場にしてはどうか。
- ・ココリを有効活用した方がよい。若い起業家などに安価でスペースを貸したり、無名のアーティストの方などに貸し、安く販売したり、なにか活用できれば活性化にもつながると思う。
- ・路線バスの本数などをもっと充実していただきたい。
- ・首都圏からの移住者、観光客などを増やし活性化を進めるためには、公共交通機関の発展が必要だ。バスの時刻や運賃を調べるのが便利になるだけでも、暮らしやすくなるのではないかな。
- ・甲府がもともと持っている歴史、文化、自然、景観に誇りを持ち、それらを尊重したまちづくりをしてほしい。

7. 計画の推進について（107件）

- ・自治会活動について、高齢世帯が増えており、活動を支える担い手が減っている。若い世帯の呼び込みも必要だろうが、自治会の活動内容軽減など、負担を減らしていくことも考えた方がよいのではないか。
- ・地域に根差した市民力の向上を目指すとともに、多様なボランティア・NPO活動の支援と活性化が必要である。また、行政・企業・市民の協働・協創により、心豊かな人づくり、地域づくりが、今後ますます大切である。
- ・市民と行政の協働による「まちづくり」の発想は素晴らしいが、ボランティアの名における行政側の押しつけにならないような配慮をお願いしたい。
- ・もっと興味を持つような広報活動を行って、若い世代からの意見をオープンな場所で、直接行政側の方々と話し合う場を設けていただきたい。
- ・甲府市のグランドデザインをどう考えるのか、非常に大切な時期である。甲府市の総合計画ではあるが、県都として県内の他市町村との連携やすみ分けなども意見交換をしながら、現実を直視した計画にしてほしい。
- ・未来のまちづくりに対して、甲府市はまだまだ消極的だと感じる。市民が気軽にまちづくりへの意見を提案できる機会がもっと多様化すれば、意識も変わってくると思う。
- ・市役所の人達の、市民に対する態度を見直す必要がある。対応にばらつきがありすぎる。
- ・甲府市はいろいろなことを全国へアピールすることが上手くない。
- ・他市町村に比べて税金や保育料が高いと聞くので、もっと安くしてほしい。

8. その他（アンケートなど）（34件）

- ・よりよいまちづくりが推進されることを期待している。私の意見が少しでも反映されることを願う。
- ・市の財政が圧迫されている中で、議員数の削減等も取り入れていかないと、本当の意味で甲府のまちづくりを真剣に考えてくれる人が活かされないと思う。
- ・アンケートは、ありきたりの質問内容であるように思う。市としての明確な方向性がなく、内容が漠然としていて答えようがない。